

はっらっ岡谷スポーツプラン

第3次岡谷市スポーツ推進計画

スポーツで笑顔あふれる元気なまち



2025 年度 - 2028 年度

岡谷市教育委員会

はじめに

教育長あいさつ

岡谷市教育委員会

教育長 宮坂 享

写 真

目 次

第1章 計画の基本的な考え方

1 計画策定の趣旨と背景.....	1
2 計画の性格と位置づけ.....	2
3 計画の期間	3
4 国、県の方針	4

第2章 スポーツ環境の現状と課題

1 岡谷市の現状	5
2 岡谷市民のスポーツに関する意識調査.....	8
3 第2次岡谷市スポーツ推進計画における総括評価.....	14
4 岡谷市のスポーツ振興における課題.....	16

第3章 計画の基本理念とこれからの施策展開

1 計画の基本理念.....	19
2 第3次岡谷市スポーツ推進計画 施策展開体系表.....	20
【基本目標1】市民ひとり1スポーツの実現.....	22
【基本目標2】競技力の向上.....	23
【基本目標3】子どものスポーツ機会の充実.....	25
【基本目標4】スポーツ環境の整備・充実.....	30
【基本目標5】第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会の推進	33

第4章 計画の推進体制と評価

1 計画の推進体制.....	35
2 計画の検証と評価.....	35
3 計画の見直し	35

資料編

資料編	36
-----------	----

第1章 計画の基本的な考え方

1 計画策定の趣旨と背景

スポーツは、「する」ことによって楽しさや喜びに加え、体力向上やストレス発散など、心身の両面にわたる健康増進に重要な役割を果たしています。

本市では平成 27 年 3 月に、スポーツの推進に関する具体的施策を定めた岡谷市スポーツ推進計画を策定、令和元年 3 月には、その内容を継承した第 2 次岡谷市スポーツ推進計画を策定し、「スポーツに親しみ夢と感動が生まれるまち」を基本理念に、様々な施策に取り組んできました。

しかし、令和 2 年から急速に拡大した新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツ活動を含めたすべての社会経済活動が制限され、体力の低下や精神的抑圧の増加、スポーツを通じた地域交流の減少など、我々の日常生活に様々な影響を及ぼしました。

一方で、スポーツには、日常生活や社会に活力を与えるなど、優れた力や重要な価値があることを再認識することとなりました。

このようななか、国においては、令和 4 年 3 月に「第 3 期スポーツ基本計画」を策定し、国民がスポーツを「する」「みる」「ささえる」ことを真に実現できる社会を目指すため、「つくる/はぐくむ」「あつまり、ともに、つながる」「誰もがアクセスできる」の 3 つの新たな視点を取り入れ、スポーツの価値を高める施策を推進するとしています。

また、長野県においても、令和 5 年 3 月に「スポーツの力で切り拓く長野県の未来」を基本理念とした「第 3 次長野県スポーツ推進計画」を策定し、今後のスポーツ振興のために必要な具体的施策が定められました。

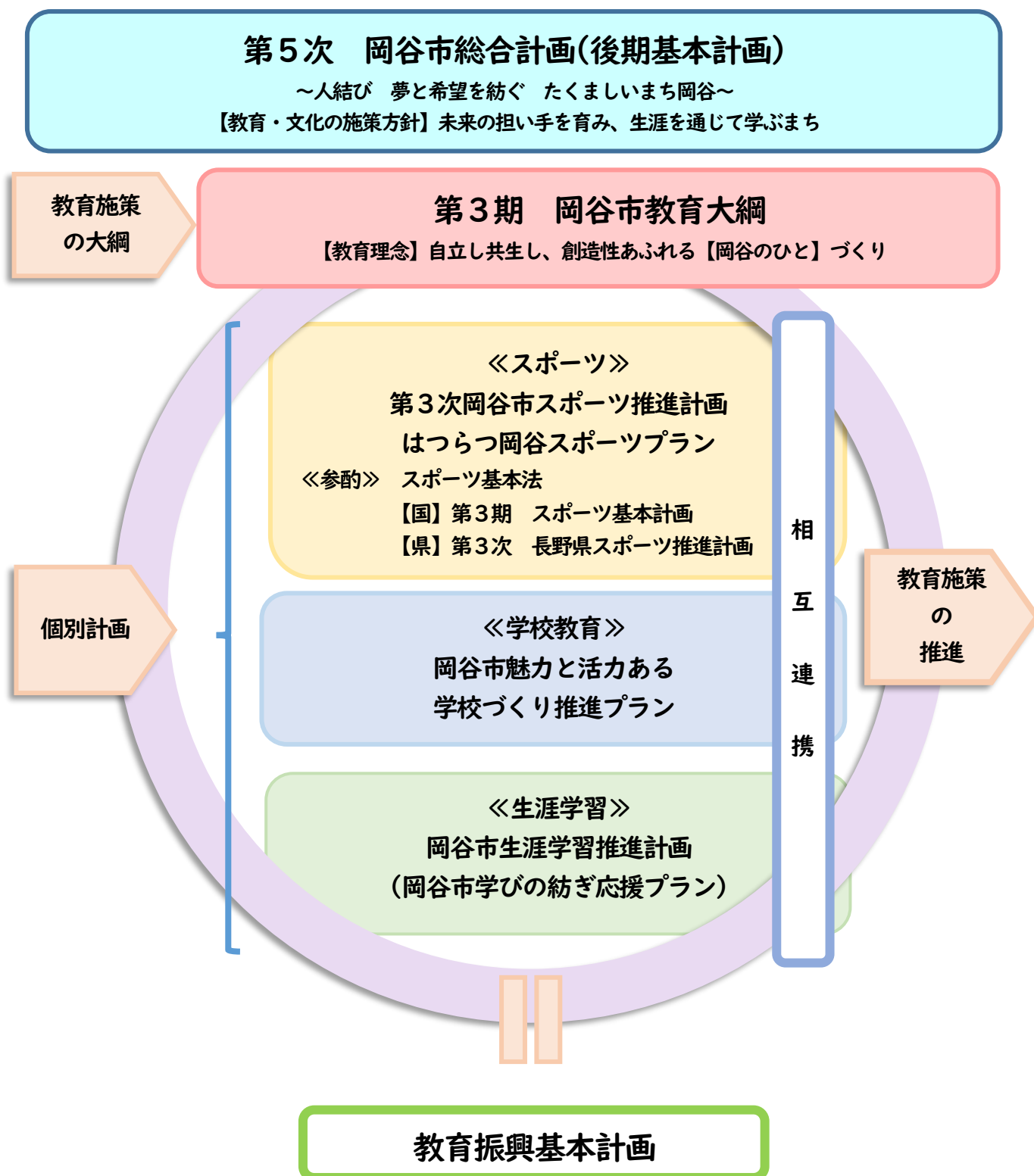
本市では、第 2 次計画の計画期間満了に当たり、本市のスポーツを取り巻く現状や課題を踏まえ、さらなるスポーツ振興と充実を図るため、国の「第 3 期スポーツ基本計画」、県の「第 3 次長野県スポーツ推進計画」を参酌しながら、前計画を見直すとともに、令和 10 年に長野県で開催予定の「第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会」を見据えながら「第 3 次岡谷市スポーツ推進計画」を策定します。

※本計画においての「スポーツ」とは、国の第 3 次スポーツ基本計画にも示されているとおり、競技スポーツに加え、散歩、ダンス、健康体操、サイクリングや、スポーツ・レクリエーション活動等、目的を持った身体活動を含むものとし、文化としての身体活動を意味する広い概念として使用しています。

さらに、「する」スポーツだけでなく、観戦等の「みる」スポーツや、審判・ボランティア活動等の「ささえる」スポーツなどもスポーツ活動として捉えています。

2 計画の性格と位置づけ

本計画はスポーツ基本法（平成 23 年法律第 78 号）の第 10 条第 1 項に基づき、第 5 次岡谷市総合計画後期基本計画と第 3 期岡谷市教育大綱の新たな個別計画と位置づけ、今後の本市のスポーツ振興に必要な具体的施策を示した推進計画とします。



3 計画の期間

令和7（2025）を年度初年度とし、令和10（2028）年度を目標年度とする4ヵ年の計画とします。なお、計画期間内に、社会情勢の変化などにより新たに計画に盛り込むべき事項が発生した場合は、必要に応じて見直しを検討するものとします。

・現計画の期間

令和2年度～6年度の5ヵ年

・第3次計画の期間

令和7年度～令和10年度の4ヵ年

〔理由〕

岡谷市スポーツ推進計画は、国・県の計画期間と同様に5年間の計画としていますが、計画元となっている、岡谷市総合計画及び岡谷市教育大綱と改定時期が1年ずれているため、教育に関する施策をより効果的に推進するため、今計画の期間を4ヵ年とし調整することとします。

【計画の位置づけ】

	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)
国	第3期スポーツ基本計画(2022～2026)					
県	第3次長野県スポーツ推進計画(2023～2027)					
市			第3次岡谷市スポーツ推進計画(2025～2028)			
市総合計画		第5次岡谷市総合計画後期基本計画(2024～2028)				
市教育大綱		第3期岡谷市教育大綱(2024～2028)				

4 国、県の方針

○国の動向

第3期スポーツ基本計画

第3期スポーツ推進計画では、令和4年度から令和8年度までの5カ年の計画であり、今後のスポーツのあり方を見据え、国等が取り組むべき施策や目標を定めており、東京オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーの継承・発展や、新たな視点として、スポーツを「つくる／はぐぐむ」、スポーツで「あつまり、ともに、つながる」スポーツに「誰もがアクセスできる」という3つを取り入れた施策に取り組むとしております。

○県の動向

長野県スポーツ推進計画

県では、平成30年3月に策定した「第2次長野県スポーツ推進計画」(H30～R4)を指針とし、様々な施策を通して「スポーツを通じた元気な長野県づくり」に取り組んでおり、令和5年4月に策定した「第3次長野県スポーツ推進計画」においては、スポーツの持つ力や価値を活用し、県民一人ひとりの生活や心がより豊かになるといった「ウェルビーイング」の実現を目指し、本県が推進していくスポーツの施策を明らかにするべく、基本理念「スポーツの力で切り拓く長野県の未来」として新たなスポーツ推進計画を推進しています。

○SDGs(持続可能な開発目標)の視点を踏まえた計画の推進

SDGs(持続可能な開発目標)は、令和12(2030年)年までに達成を目指す国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、「地球上の誰一人として取り残さない」ことを誓っています。スポーツ庁はSDGsの達成にスポーツで貢献しようという姿勢を示しており、スポーツの持つ、人々を集め、巻き込む力を使ってSDGsの認知度向上や社会におけるスポーツの価値の更なる向上に取り組むとしています。

岡谷市が目指すスポーツ推進計画の方向性と重なる部分も多いことから、本計画ではSDGsの目標達成に向けた取り組みを推進します。

持続可能な世界を実現するための17のゴール

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



岡谷市のスポーツ振興における目標



第2章 スポーツ環境の現状と課題

Ⅰ 岡谷市の現状

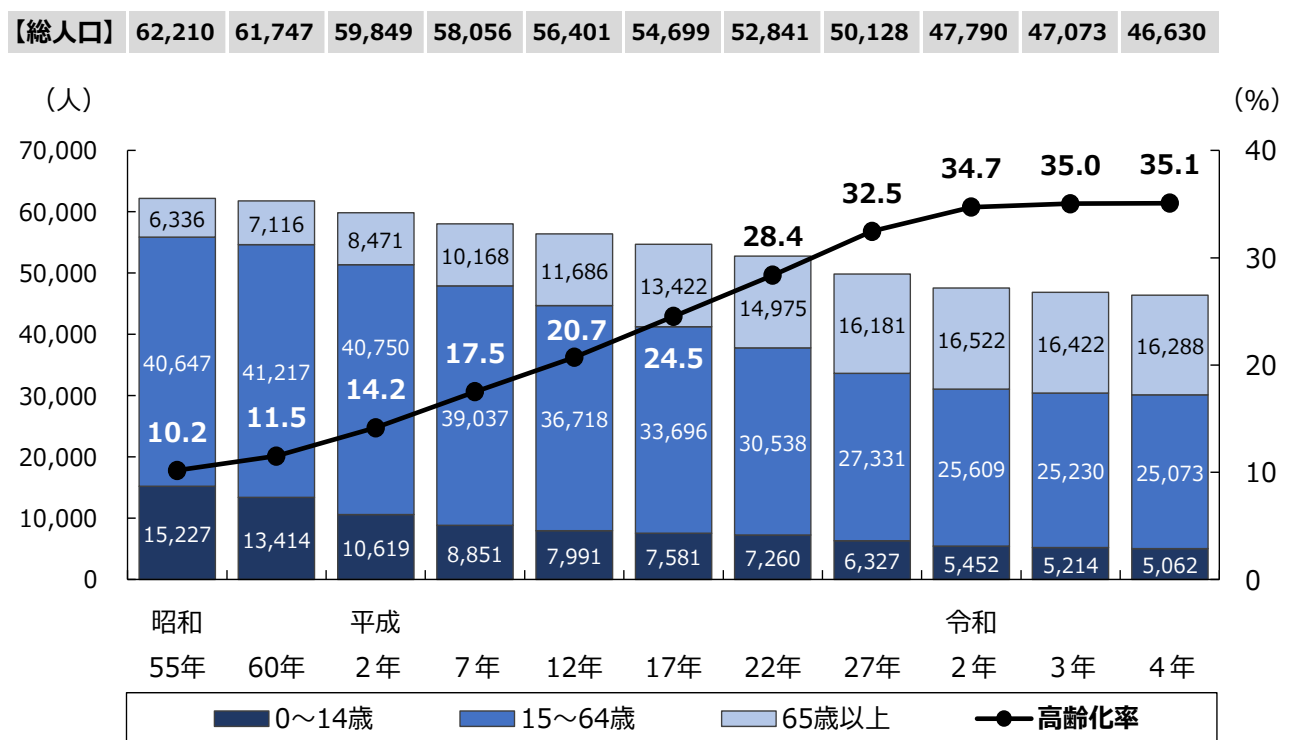
(1) 岡谷市の人口動態

現在、全国的に人口減少及び高齢化が課題となっている中、本市においても同様の状況がみられ、15歳未満の人口は減少傾向が続いており、65歳以上の人口は増え続け、高齢化率は上昇しています。

生産年齢人口の減少により、市民生活や地域社会全体においても、社会保障制度や生活インフラの維持が困難になるなどの影響を及ぼすことが見込まれ、地域の担い手不足を招き、岡谷市全体の活力が低下していくことが課題となってきます。今後、この人口構造の変化の対応として、地域やまちの機能や活力等の増進、安心して結婚や出産、子育てができる環境の充実、日常生活を支える基盤の確保、地域の支えあいの強化や、産業の担い手確保などが重要となります。

スポーツの分野においても、日常生活を健康に過ごすために、利用者のニーズに合わせた、スポーツ機会の維持、創出に取り組むことが必要であると考えています。

〇年齢3区分別人口の推移と高齢化率（第5次岡谷市総合計画後期計画より抜粋）



※総人口には年齢不詳者を含む。

※高齢化率は年齢不詳者を除いた総人口を分母とする。

【出典】国勢調査、毎月人口異動調査（令和3年以降各年10月1日現在）

(2) スポーツ施設の利用状況

岡谷市では、岡谷市民総合体育館をはじめとした 6 つのスポーツ施設や市内小中学校の体育館及び校庭を、市民の方にご利用いただいております。

令和5年度施設利用者数の合計は 357,917 人となっており、コロナ禍による利用者減の影響を受けましたが、近年ではスポーツ活動も再開され活発化してきています。

しかし、コロナ禍以前の令和元年度と比較すると 58,913 人の減少となっています、各施設ともまだ回復に至っていない状況のため、さらなる利用促進に努めていく必要があります。

○岡谷市のスポーツ施設利用状況

(単位：人)

施 設 名		令和元年度 利用人数	令和2年度 利用人数	令和3年度 利用人数	令和4年度 利用人数	令和5年度 利用人数
市民総合体育館		173,552	98,846	102,762	120,949	158,212
市民水泳プール		41,698	31,933	33,383	26,927	33,319
市営岡谷球場		12,675	5,688	6,370	7,680	8,983
市営庭球場		37,869	27,256	33,568	34,021	32,843
湖畔広場		11,252	4,394	6,260	4,429	9,078
川岸スポーツ広場		4,397	2,715	1,239	2,187	3,238
やまびこ 国際スケートセンター		24,365	18,038	11,182	14,700	13,703
学校 体育 施設	体育館	82,849	43,202	47,160	52,017	79,400
	校 庭	28,191	19,740	16,276	18,546	19,141
	小 計	111,040	62,942	63,436	70,563	98,541
合 計		416,848	251,812	258,200	281,456	357,917

○岡谷市のスポーツ施設一覧

No	施 設 名		建設年月	所 在 地	規 模
1	岡谷市民総合体育館	西体育館 (スワンドーム)	H11.3	岡谷市南宮 3-2-1	1,596 m ²
		東体育館	S50.3 (改修H11.8)		2,028.7 m ²
2	岡谷市民水泳プール		S56.3 (改修R4.10)		897.67 m ²
3	岡谷市営庭球場		S60.11 (改修R6.11)		8,779.7 m ²
4	市営岡谷球場		S24.8 (改修S61.9)	岡谷市神明町 1-1-1	15,141 m ²
5	岡谷市民スポーツ広場	湖畔広場	S61.8	岡谷市湖畔 4-10020-11	18,260 m ²
6		川岸スポーツ広場	S55.10 (改修H9.3)	岡谷市川岸上 3-1945-14	11,286.55 m ²
7	岡谷市営陸上競技場 (岡谷東部中学校校庭)		S43.1	岡谷市長地柴宮 1-9	13,521 m ²
8	岡谷市やまびこ 国際スケートセンター		H6.9	岡谷市内山 4769-14	149,596 m ²

2 岡谷市民のスポーツに関する意識調査

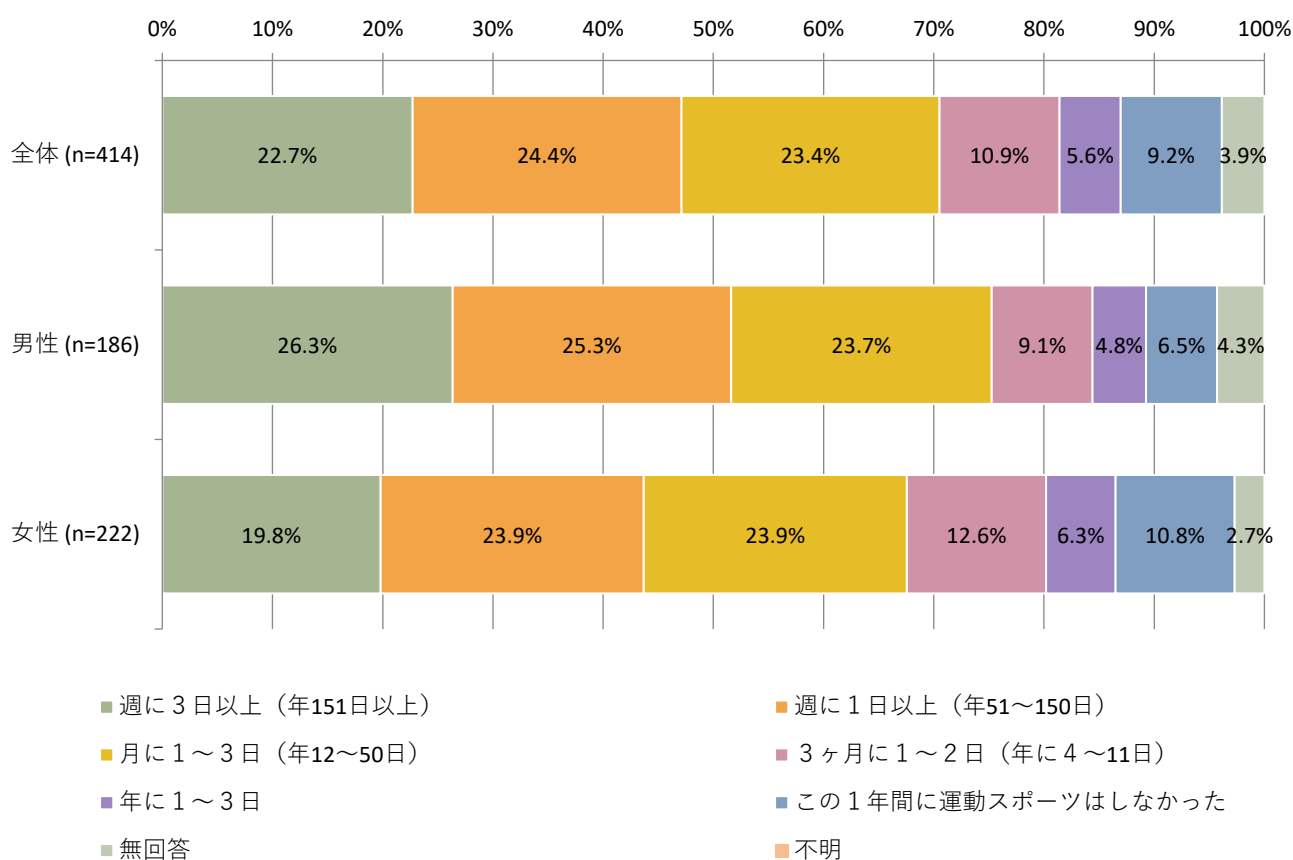
「第3次岡谷市スポーツ推進計画」の策定にあたり、市民の運動やスポーツについての考えや意見を伺い、今後の施策や事業に反映させることを目的に、「スポーツ振興に関するアンケート調査」を実施しました。

調査対象	岡谷市在住の満18歳以上の1,000人(住民基本台帳から無作為抽出)
調査方法	郵送による配布、郵送または電子アンケートによる回収
調査機関	令和6年7月16日(火)から8月5日(月)
回収状況	回収数414票(回収率41.4%)

(1) スポーツや運動の実施状況

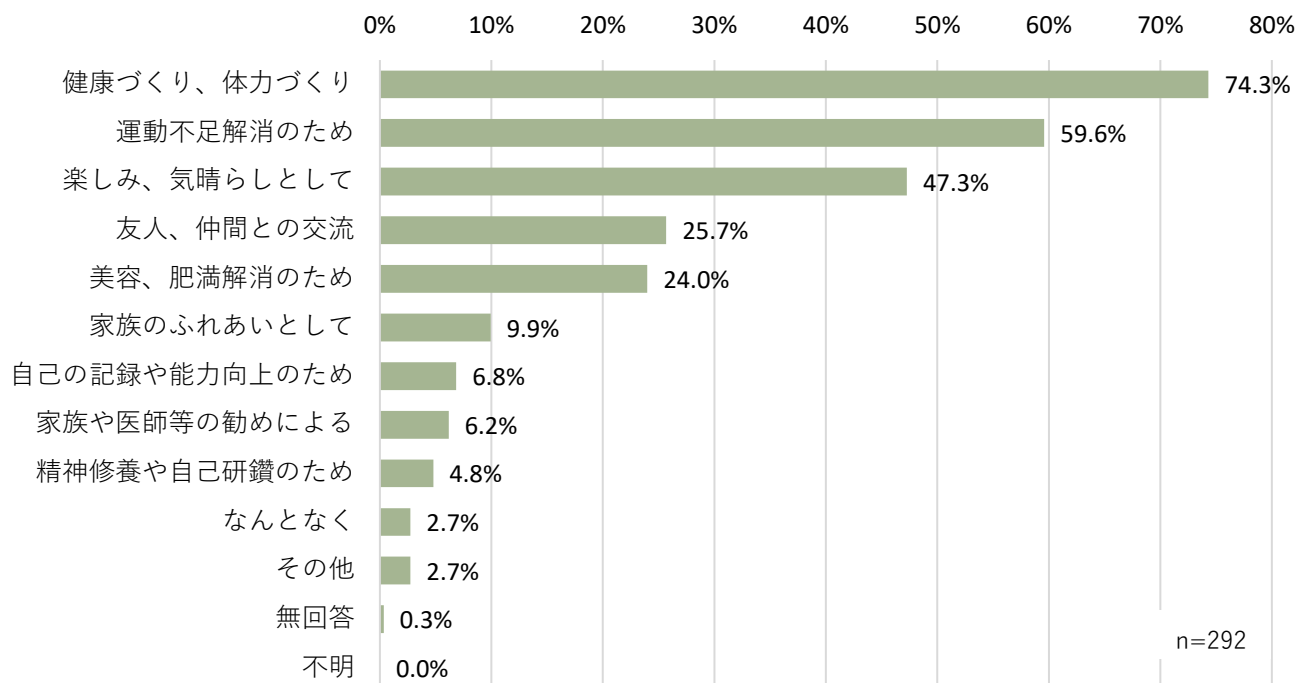
① 1年間に運動・スポーツした日数

市民アンケート調査によると、スポーツや運動を行っている日数は「週に3日以上」が22.7%、「週1日以上(3日未満)」が24.4%、「月に1～3日」が23.4%であり、全体として週1日以上運動している人は47.1%となっています。前回調査した2019年度(令和元年度)の55.2%と比較すると8.1%減少しています。



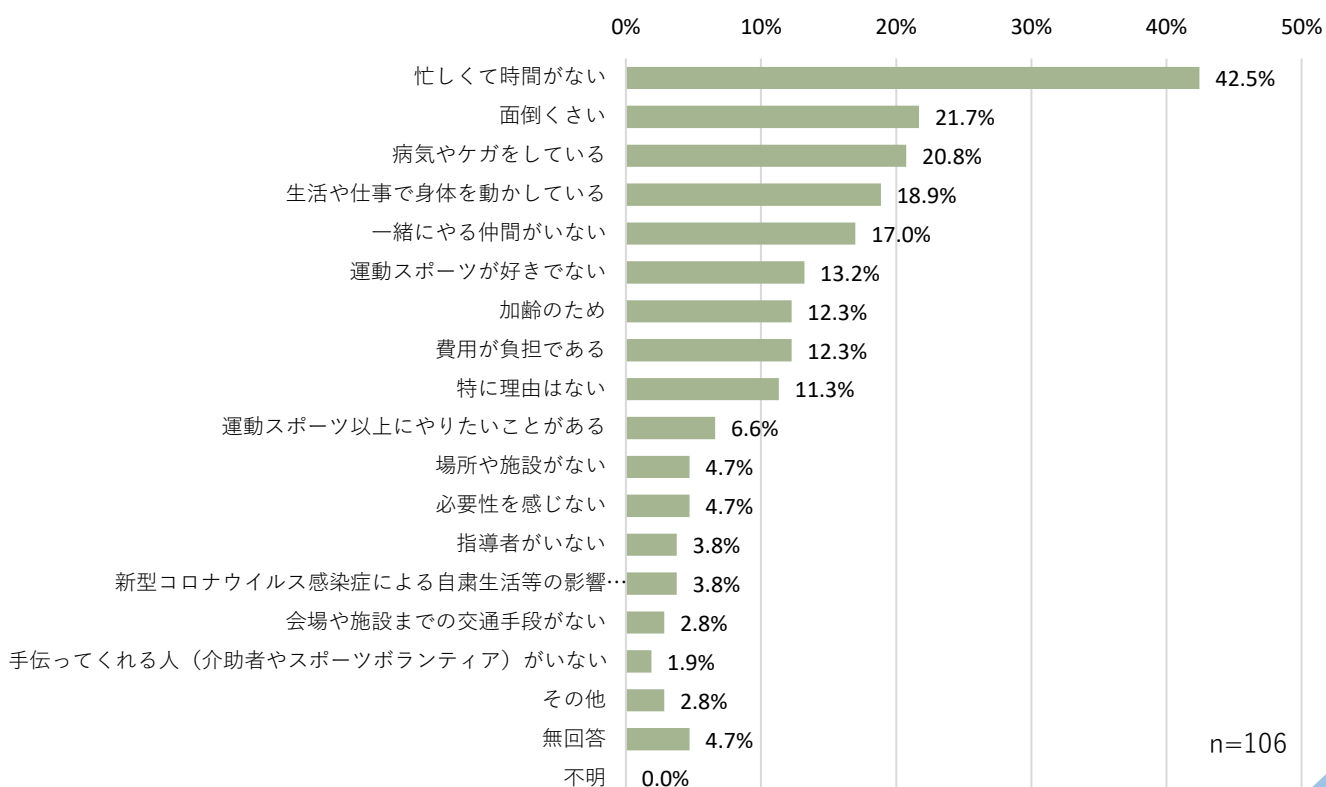
② ②運動・スポーツをする目的(複数回答可)

運動・スポーツをする目的については、「健康づくり、体力づくり」が74.3%、「運動不足解消のため」が59.6%、「楽しみ、気晴らしとして」47.3%であり、多くの人々が心身の健康を維持していくために、運動やスポーツを行ったことがわかります。



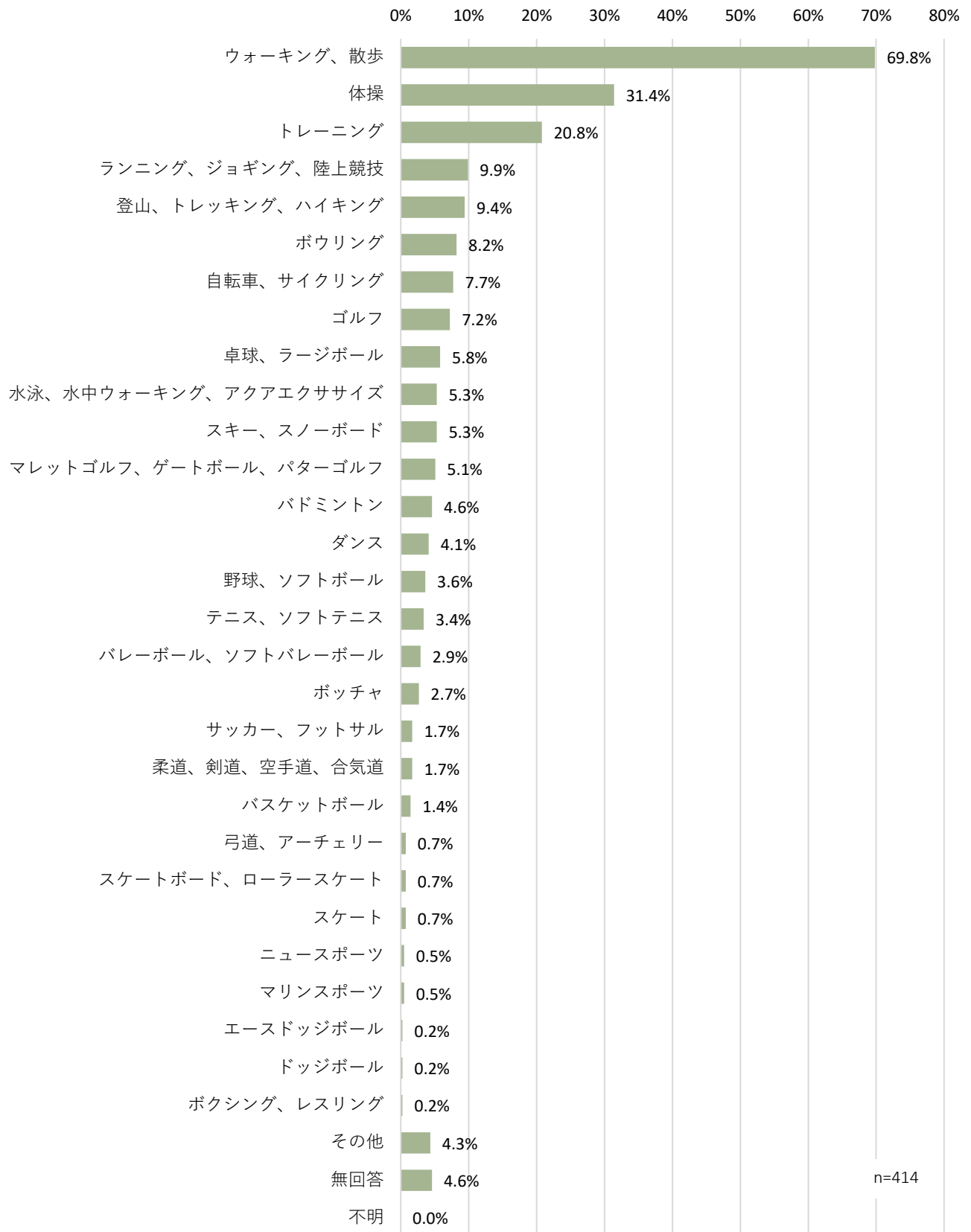
③ 1年間にスポーツをした日数が1〜3日以下であった理由

スポーツをした日数が1〜3日以下であった主な理由は、「忙しくて時間がない」(42.5%)が最も高く、次いで「面倒くさい」(21.7%)、「病気やケガをしている」(20.8%)の順となっています。



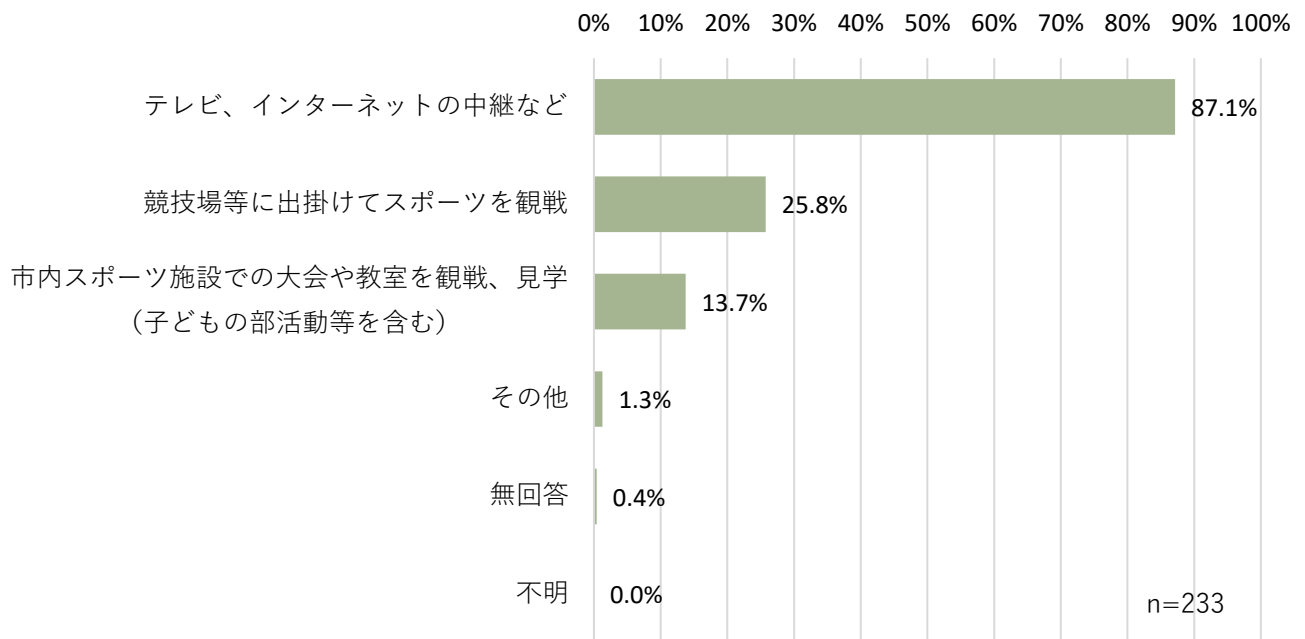
④ 1年間で行ったスポーツ種目

この1年間で行った運動、スポーツは「ウォーキング、散歩」(69.8%)が最も高く、次いで「体操」(31.4%)、「トレーニング」(20.8%)の順となっています。



⑤ 1年間のスポーツ観戦の有無

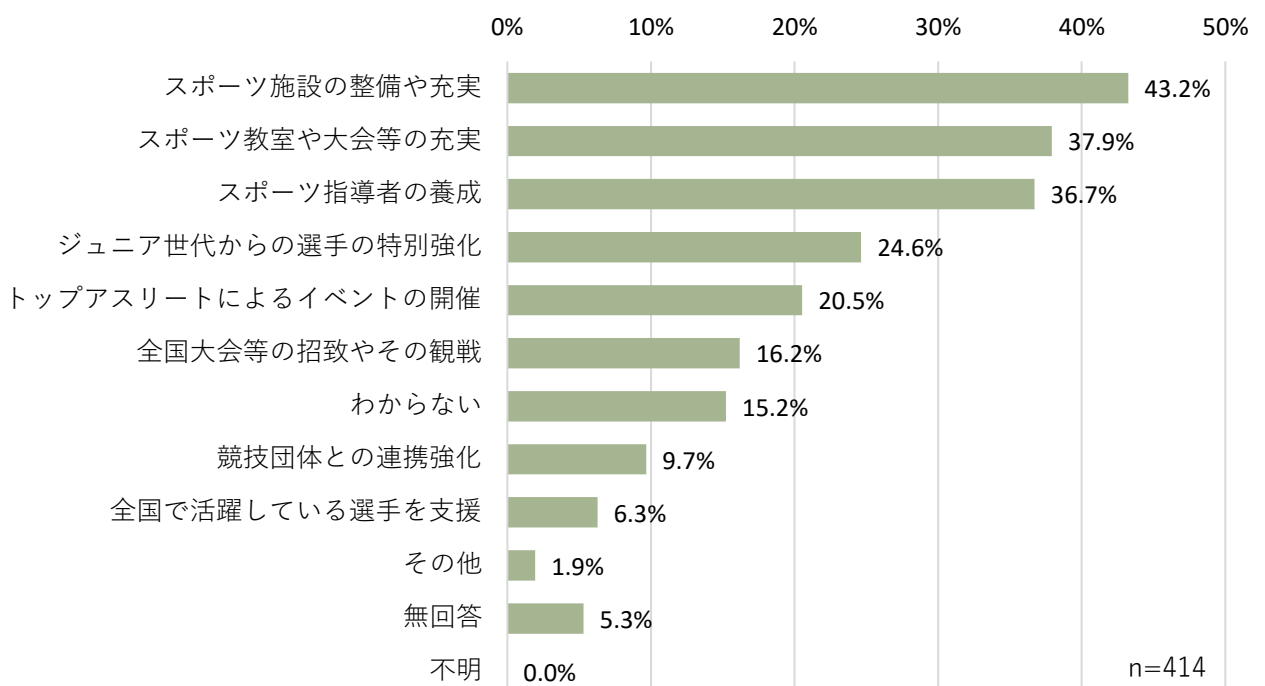
1年間にスポーツ観戦をしたことがあるかは「ある」(56.3%)、「なし」(39.6%)となっており、観戦をしたことが ありと答えた方の観戦方法としては「テレビ、インターネットの中継など」(87.1%)が最も高く、次いで「競技場等に出掛けてスポーツを観戦」(25.8%)、「市内スポーツ施設での大会や教室を観戦、見学(子どもの部活動等を含む)」(13.7%)の順となっています。



(2) 競技力の向上

競技力向上を図るために必要なこと

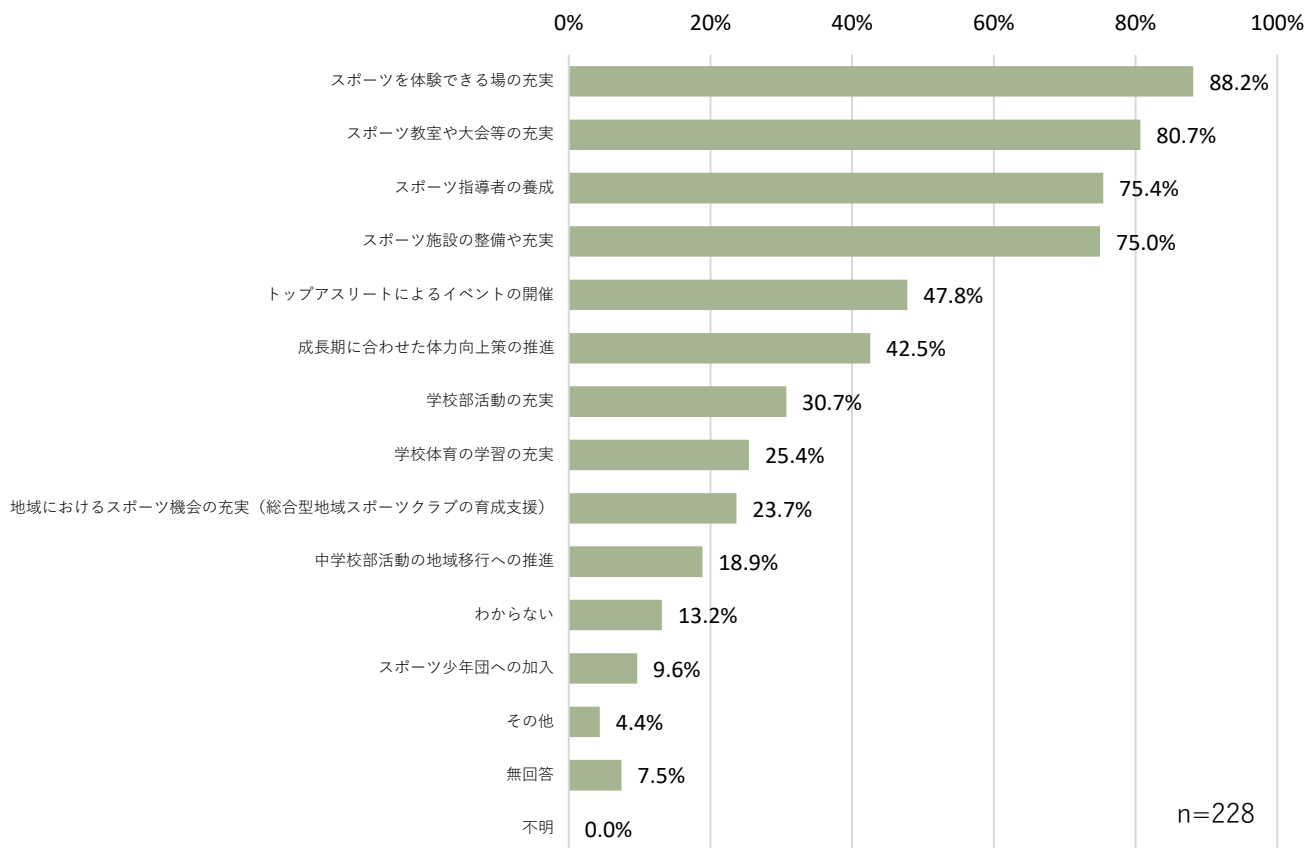
競技力向上を図るために、どんなことが必要だと思うかは、「スポーツ施設の整備や充実」(43.2%)が最も高く、次いで「スポーツ教室や大会等の充実」(37.9%)、「スポーツ指導者の養成」(36.7%)の順となっています。



(3)子どもの運動・スポーツ環境

子どものスポーツ活動等の推進等

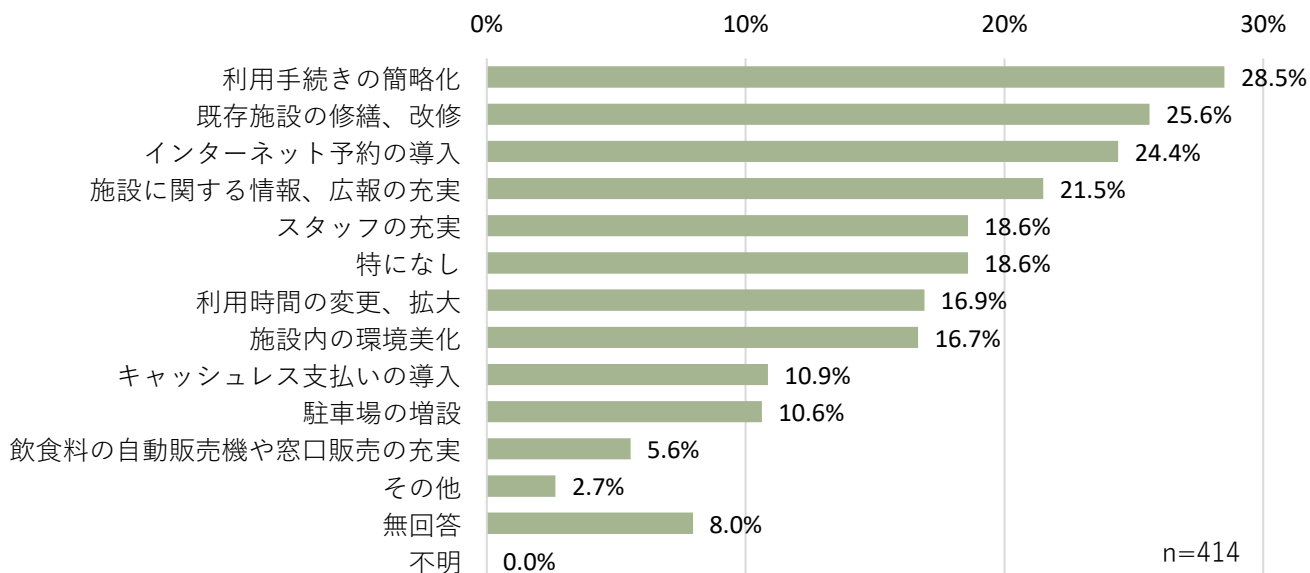
子どもたちのスポーツ活動や運動を推進するために、どんなことが必要だと思うかは、「スポーツを体験できる場の充実」(88.2%)が最も高く、次いで「スポーツ教室や大会等の充実」(80.7%)、「スポーツ指導者の養成」(75.4%)の順となっています。



(4)スポーツや運動施設的环境

岡谷市のスポーツ施設への要望

スポーツ施設についての要望は、「利用手続きの簡略化」(28.5%)が最も高く、次いで「既存施設の修繕、改修」(25.6%)、「インターネット予約の導入」(24.4%)の順となっています。



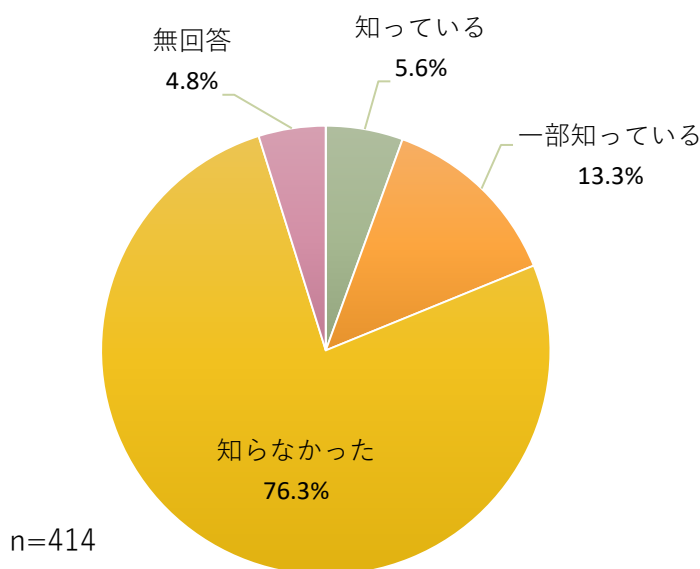
(5)国スポ・全障スポについて

令和10年(2028年)に長野県で国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の認知度、岡谷市で開催される国民スポーツ大会への興味、関心。

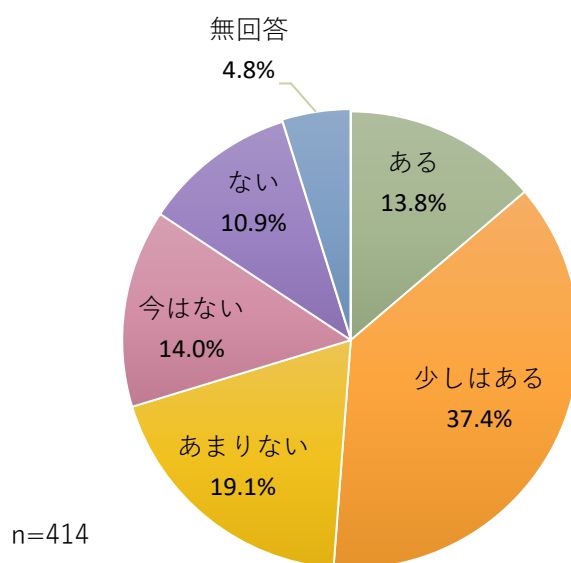
長野県で国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会が開催され、岡谷市で正式競技として、卓球、トライアスロン競技、アイスホッケー競技が開催される予定を知っているかは、「知らなかった」(76.3%)が最も高く、次いで「一部知っている」(13.3%)、「知っている」(5.6%)の順となっており、興味、関心があるかは、「少しはある」(37.4%)が最も高く、次いで「あまりない」(19.1%)、「今はない」(14.0%)の順となっています。

《令和10年(2028年)に長野県で国民スポーツ大会

全国障害者スポーツ大会の認知度。》



《岡谷市で開催される国民スポーツ大会への興味、関心》



3 第2次岡谷市スポーツ推進計画における総括評価

第2次岡谷市スポーツ推進計画の評価

第2次岡谷市スポーツ推進計画は、「スポーツに親しみ 夢と感動が生まれるまち」を基本理念とし、市民一人ひとりがスポーツを通して、心と体を養い、はつらつとした暮らしを送れるよう願いをこめて策定しております。

計画の主な取り組みである「市民ひとり1スポーツ」、「競技力の向上」、「子どものスポーツ機会の充実」、「スポーツ環境の整備・充実」の4つを柱に様々な施策を推進してまいりました。

第2次岡谷市スポーツ推進計画の総括的な評価は以下のとおりです。

(1) 市民ひとり1スポーツの実現

スポーツを「する」「みる」「ささえる」といった様々な関わり方で親しむことができるよう、市民ひとり1スポーツの実現を推進してきました。

計画期間中の新型コロナウイルス感染症拡大により、スポーツ活動の制限や自粛等があったなかで、市民が心身の健康維持には適度な運動やスポーツが必要であると再認識できたことは、プラスの材料となったと考えております。

今回の市民アンケート調査の結果では、週1回以上運動・スポーツを行う人の割合は、47.1%（令和6年度）で、時間的余裕がない等の理由から、目標値の65%には達しておりません。また、スポーツ教室参加者数においても、現計画策定時より2割ほど減少しており、目標値の人数を下回っております。

これらの要因としては、少子化に伴うスポーツ人口の減少のほか、ライフスタイルやスポーツの楽しみ方の多様化などが考えられます。

誰もが気軽にスポーツに参加できる環境づくりを推進し、スポーツの力で心身とも健康ではつらつとした暮らしが送れるよう、多様な施策を講じていく必要があります。

(2) 競技力の向上

競技力向上のためのスポーツ教室や大会を開催し、選手及び指導者の育成を推進するとともに、成長期に合わせた運動プログラムを取り入れ、将来的な競技力の向上につなげてきました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、大会等の中止や自粛等もあったなかで、現在においては、大会をはじめとしたスポーツイベントも開催できるようになっていますが、全国大会や国民スポーツ大会への出場者数等の目標値は未達成となっています。

今後も、選手が全国レベルの大会で活躍できるよう、(公財)岡谷市スポーツ協会等と連携しながら、継続した指導体制のもと、選手の育成・強化を図るとともに、スポーツ指導者の資質向上に努める必要があります。

(3) 子どものスポーツ機会の充実

スポーツをする子どもとしない子どもの二極化が進んでいるなかで、スポーツを楽しみ、体を動かす喜びを感じてもらうため、多様な運動・スポーツ機会の提供や、子どもの成長期に合わせた体力・運動能力向上を目指してきました。

市内小中学生の体力については、国、県を上回る学年もありますが、平均的な水準に達していない学年もあり、目標値の平均体力合計点には達していません。

また、スポーツ少年団においては、少子化やスポーツの多様化に伴い、登録単位団や団員数も減少しており、目標値は未達成となっています。

引き続き、子どもがスポーツに親しむ機会の充実と、継続的な運動習慣を身に付けるよう環境を整えていくことが必要となっています。

(4) スポーツ環境の整備・充実

令和2年度に策定した公共施設総合管理計画個別施設計画に基づき、利用者の安全と安心の確保に向け、計画的にスポーツ施設の整備を推進してきました。

スポーツ施設の老朽化に伴い、指定管理者と連携しながら各施設の点検や修繕業務を実施してきたほか、岡谷市民水泳プール及び岡谷市宮庭球場については、施設の長寿命化を図るための改修工事を実施し、安全、快適な環境の整備につなげることができています。

スポーツ施設利用者数については、新型コロナウイルス感染症の影響などにより大幅に減少し、目標値は未達成となりましたが、5類感染症移行に伴い回復傾向にあり、今後の利用者増に期待をしています。

今後も市民が、安全、快適にスポーツ活動ができるようスポーツ環境の整備・充実を推進する必要があります。

写 真

写 真

4 岡谷市のスポーツ振興における課題

(1) 市民ひとり1スポーツの実現

・アンケート調査ではスポーツ活動ができない理由として「忙しくて時間がない」という回答結果が多く出ていることから、市民がスポーツ活動にかかわりを持ち、誰もが気軽にスポーツに参加しやすい環境づくりを推進し、スポーツ情報等の周知を広く図る必要があります。

・スポーツが体力、技術力向上のためだけではなく、ウォーキングや体操などの軽度な運動も、健康増進、体力増強等の多様な効果に大きく関係していることを改めて認識し、運動・スポーツをすることの大切さを実感してもらう必要があります。

・スポーツを「する」「みる」「ささえる」といった様々な形での「スポーツ参画人口」の拡大を目指し、生涯スポーツ社会の実現に多様な施策を講じていく必要があります。

(達成目標の状況)

指 標 名		第2次計画 策定時実績 (令和元年度)	第2次計画 策定時目標 (令和6年度)	現 状 (令和6年度)	達成状況	目標と現状 の比較
実施率 運動・ スポーツ	週1回以上実施する 人の割合	55.2%	65.0%	47.1%	未達成	↓(-17.9)
	週3回以上実施する 人の割合	35.0%	30.0%	22.7%	未達成	↓(-7.3)
	スポーツをしない 人の割合	21.6%	0に近づける	9.2%	未達成	↓(-9.2)
スポーツ教室参加者数		4,855人 (平成30年度実績)	5,300人	3,836人 (令和5年度実績)	未達成	↓(-1,464)
トップアスリート等による 試合や講習会の開催		1回	2回	5回 (令和5年度実績)	達 成	↑(+3)

(2) 競技力の向上

・市内のスポーツ関係団体の中には、少子化や多様性による団員や会員の減少により優秀な選手の輩出が難しくなっていますが、岡谷市出身選手の活躍は、選手のスポーツに対する意識の向上につながります。また、選手ばかりでなく、市民に勇気と希望を与えます。そのため、将来のオリンピック・パラリンピック、全国レベルの大会、2028年に控えている信州やまなみ国スポ・全障スポへの地元選手輩出に向けて、スポーツ協会や各種競技団体と連携しながら、選手の育成・強化のための環境づくりを進める必要があります。

・競技スポーツのレベルアップを図るには、専門知識を備えたスポーツ指導者を育成するとともに、継続的な指導体制を構築し、選手や指導者が達成感・充実感を得られるように努める必要があります。

(達成目標の状況)

指 標 名	第2次計画 策定時実績 (平成30年度)	第2次計画 策定時目標 (令和6年度)	現状(直近実績) (令和6年度)	達成状況	目標と現状の比較
全国大会に出場する 個人・団体数	29人・団体	40人・団体	24人・団体	未達成	↓(-16)
国民スポーツ大会 出場選手数	36人	38人	32人	未達成	↓(-6)

(3)子どものスポーツ機会の充実

・小中学生の体力低下が全国的な課題となっているなか、本市の小中学生の体力は、学年によっては国・県の平均と比べると高い水準にある学年もありますが、平均的な水準に達していない学年もあるため、子どもが自ら進んで動きたくなるような取り組みや、年齢や体力に応じたスポーツ機会の充実を図る必要があります。(体力テスト結果は資料編P40 参照)

・スポーツ少年団においては、少子化や多様化の影響もあり、団員及び団体数が減少傾向にあることや、スポーツをする子どもとしない子どもの二極化が顕著となっているため、スポーツを行うことの楽しさや充実感を知ってもらうことが必要です。

・これまで学校が主体となって担ってきた中学校運動部活動は、地域クラブ活動への移行が検討されているなかで、継続してスポーツに親しむことができる機会を確保するため、地域が主体となる新たなスポーツ環境整備の必要があります。

(達成目標の状況)

指 標 名	第2次計画 策定時実績 (平成30年度)	第2次計画 策定時目標 (令和6年度)	現状(直近実績) (令和6年度)	達成状況	目標と現状の比較
体力合計点	49.5点	51点台	50.03点 (R5実績値)	未達成	↓(-0.97)
岡谷市スポーツ 少年団登録単位団	11団体	13団体	9団体	未達成	↓(-4)
岡谷市スポーツ 少年団団員数	219人	250人	186人	未達成	↓(-64)

(4)スポーツ環境の整備・充実

・建築後30年以上経過しているスポーツ施設の多くで老朽化が進行しているため、公共施設個別施設計画を基本に、スポーツ施設の長寿命化や適切な維持管理を計画的に進め、安全・安心な環境を整備する必要があります。また、令和10年(2028年)に開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けた施設整備が必要です。

・新型コロナウイルスの影響により、施設の利用者数は大幅に減少していますが、徐々に回復傾向にあり、今後も指定管理者と連携を図り、利用者の少ない平日昼間の利用促進や、施設の稼働率の向上等のため有効活用を一層図る必要があります。

・スポーツ施設使用料は、社会情勢や他の公共施設とのバランスを考慮しつつ、定期的な見直しの必要があります。

(達成目標の状況)

指 標 名	第2次計画 策定時実績 (平成30年度)	第2次計画 策定時目標 (令和6年度)	現状(直近実績) (令和6年度)	達成状況	目標と現状の比較
スポーツ 施設利用者数	431,064人	460,000人	357,917人	未達成	↓(-102,083)

(5)国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の推進

・令和10(2028)年に長野県で開催予定の国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会では、本市における開催競技の成功に向けて県や競技団体等と連携して準備を進め、大会に対する市民の関心と機運醸成に努める必要があります。

※今計画からの新規課題のため、達成目標の状況はなし。

～ 国民スポーツ大会ってなに？ ～

写 真

【国民スポーツ大会とは・・・】

国民スポーツ大会は、日本で毎年開催されるスポーツの祭典です。実施競技によって1-2月の冬季大会と9-10月の本大会とがあり、昭和21年(1946年)に第1回大会が近畿で開催されて以降、各都道府県が持ち回る方式で開催されています。

大会は正式種目の順位を得点に置き換えて都道府県対抗で争われ、冬季大会と本大会の通算で男女総合成績第1位の都道府県に天皇杯が、女子総合成績第1位の都道府県に皇后杯が授与されます。令和10年には長野県で開催される予定となっており、岡谷市では正式種目として卓球、トライアスロン、冬季種目としてアイスホッケーが開催されます。また、総合順位の得点に含まれない公開種目として、綱引も開催される予定です。

なお、本大会後には、全国障害者スポーツ大会における卓球競技が岡谷市で開催されることとなっています。

【本大会とは・・・】

本大会は正式種目である卓球、水泳、サッカー、陸上競技、柔道、剣道、フェンシング、レスリング、バレーボール、バスケットボール、野球、相撲等、約40種目のスポーツ競技が開催されます。

このほか、正式種目への昇格を見据え、試験的に行われる公開競技や、体力づくりを目的に実施されるデモンストラションスポーツも実施されており、開催都道府県に在住・若しくは在勤・在学している人を対象に競技が行われています。

写 真

写 真

【冬季大会とは・・・】

冬季大会では、スケート関連の競技として、フィギュアスケート、スピードスケート、ショートトラックスピードスケート、アイスホッケーが開催されます。

その他スキー関連の競技において、大回転競技とジャンプ競技、ノルディック複合競技、クロスカントリー競技等の複数の競技が行われます。

第3章 計画の基本理念とこれからの施策展開

Ⅰ 計画の基本理念

はつらつ岡谷スポーツプランでは、基本目標として新たに「第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会(信州やまなみ国スポ・全障スポ)の推進」を追加し、これまでの取り組みと合わせて一層推進するとともに、本計画の全体の指針として基本理念を定めます。

【はつらつ岡谷スポーツプラン基本理念】

～スポーツで 笑顔あふれる 元気なまち～

〈 基本理念に込めた思い 〉

岡谷市がめざすまちづくりの指針として、『すべての市民が主人公として輝くことができ、笑顔と元気があふれる岡谷市をめざす』とあり、基本理念には、スポーツ分野をとおして、その一助となる施策展開を進めていくという思いを込めました。

「スポーツ 5つの重点」

1 市民ひとり！スポーツの実現

生涯にわたって運動やスポーツに取り組めるように、スポーツ団体やスポーツ推進委員などと連携しながら、幅広い年齢層の市民や障がい者が楽しく参加できる各種教室、大会などの多様なスポーツ機会の充実を図り、健康を志向したスポーツ活動を推進します。

2 競技力の向上

全国大会などの誘致や競技力向上のための教室、大会を開催します。また、全国大会で活躍できる選手の育成を支援するとともに、指導者講習会などの開催を通じて、スポーツ指導者の養成を推進します。

3 子どものスポーツ機会の充実

学校体育の学習の充実をはじめ、子どもたちの成長期に合わせた体力向上プログラムにより、体力、運動能力の向上をめざすとともに、スポーツを始めるきっかけづくりとして、多様なスポーツ教室などを開催し、運動やスポーツへの苦手意識を軽減させ、喜びや楽しいと思える機会を提供します。さらに、中学校運動部活動の地域移行に向けた取組を推進します。

4 スポーツ環境の整備・充実

利用者が安全で快適にスポーツ活動を行えるように、スポーツ施設の長寿命化を計画的に進め、安全で安心な環境を整備します。

5 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会(信州やまなみ国スポ・全障スポ)の推進

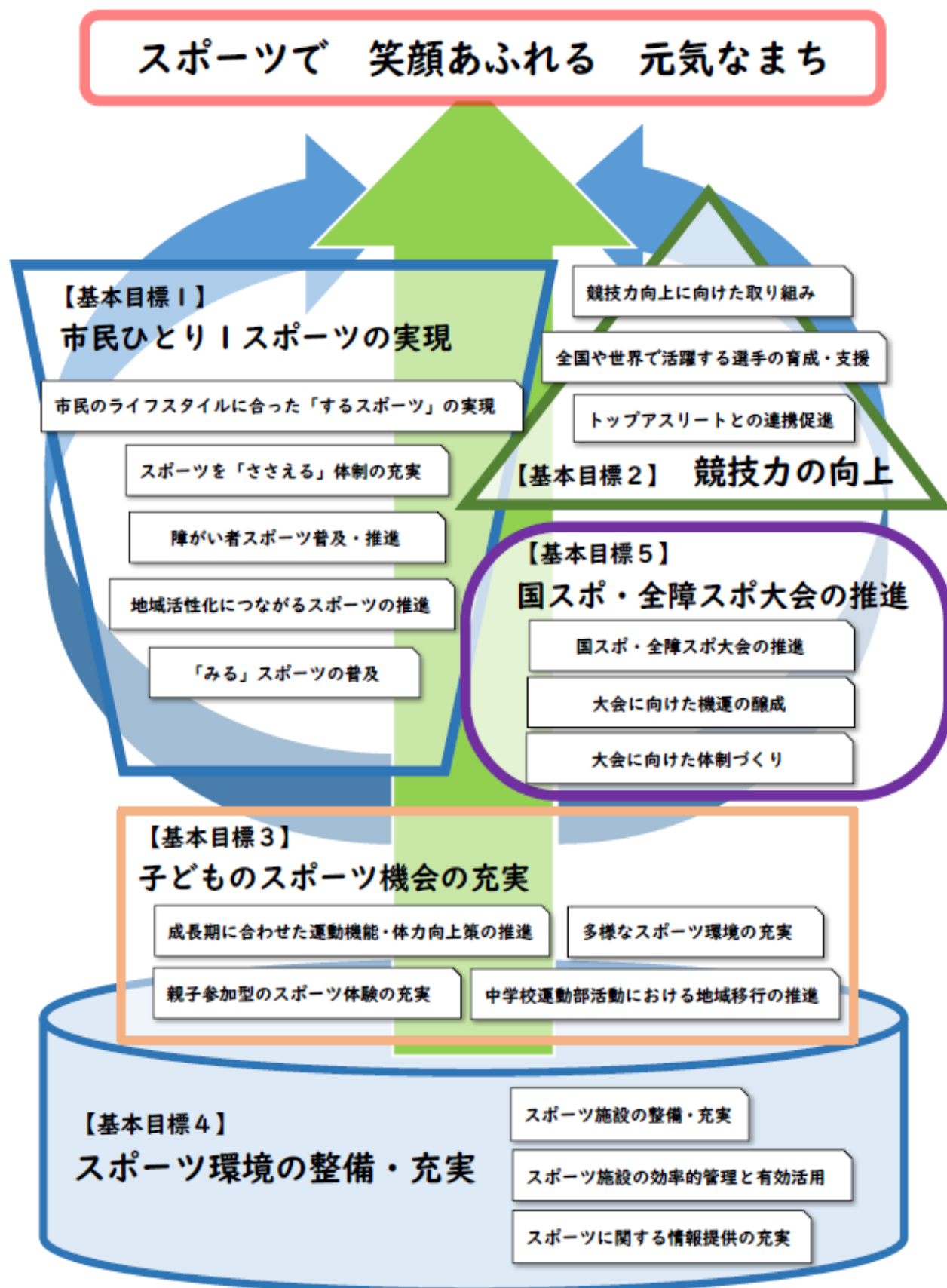
令和10(2028)年に開催される第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会に向け、機運醸成を図りながら、万全な開催準備を推進します。また、これを契機に、スポーツに対する市民の関心を高めるとともに、大会終了後も大会開催の成果を本市の財産として、未来へ継承します。

※岡谷市教育大綱より抜粋

2 第3次岡谷市スポーツ推進計画 施策展開体系表

基本理念	基本目標	基本施策	施策の展開
スポーツで 笑顔あふれる 元気なまち	【基本目標1】 市民ひとり 1 スポーツの実現	1 市民のライフスタイルに合った 「するスポーツ」の充実	111 各種スポーツ教室、大会の充実
			112 家族のスポーツ機会の充実
			113 子育て世代のスポーツ機会の充実
			114 高齢者のスポーツ機会の充実
			115 気軽に取り組めるスポーツの普及・啓発
		2 スポーツ活動を「ささえる」体制の充実	121 スポーツ推進委員活動の充実
			122 地域のスポーツ指導者の養成
			123 スポーツボランティア活動の促進
			124 (公財) 岡谷市スポーツ協会への活動支援
			125 総合型地域スポーツクラブの育成支援
			126 スポーツクラブ等の活動支援
		3 障がい者スポーツの普及・推進	131 障がい者のスポーツ機会の充実
			132 みんなで楽しめるニュースポーツ等の普及
		4 地域活性化につながるスポーツの推進	141 地域におけるスポーツ交流会の充実
			142 スポーツによる地域交流の推進
		5 「みる」スポーツの普及	151 プロスポーツ等との連携
			152 スポーツ観戦のきっかけづくり
	【基本目標2】 競技力の向上	1 競技力向上に向けた取り組み	211 競技力向上スポーツ教室、大会の充実
		2 全国や世界で活躍する選手の育成・支援	212 スポーツ指導者の育成
		3 トップアスリートとの連携促進	221 選手の育成強化・支援による競技力向上
	【基本目標3】 子どものスポーツ 機会の充実	1 成長期に合わせた運動機能・体力向上策の推進	231 トップアスリートとの交流による競技意欲の増進
		2 多様なスポーツ環境の充実	311 年齢に応じた運動プログラムの充実
			321 スポーツきっかけづくり事業の充実
			322 社会体育活動の充実
			323 スポーツ指導者の養成
			324 スポーツ施設の無料開放
		3 親子参加型のスポーツ体験の充実	331 親子参加型スポーツイベントの開催
	【基本目標4】 スポーツ環境の 整備・充実	4 中学校運動部活動における地域移行の推進	341 関係団体と連携したスポーツ環境づくり、指導者の確保
		1 スポーツ施設の整備・充実	414 安全・快適に利用できる施設整備
		2 スポーツ施設の効率的な管理と有効活用	421 スポーツ施設の安定的な管理運営
	【基本目標5】 第82回国民スポーツ 大会・第27回全国障 害者スポーツ 大会の推進	3 スポーツに関する情報提供の充実	422 スポーツ施設の有効活用の推進
		1 国スポ・全障スポ大会の推進	431 スポーツ機会の創出及び周知
		2 大会に向けた機運の醸成	511 2028年信州やまなみ国スポ・全障スポの推進
		3 大会に向けた体制づくり	521 2028年信州やまなみ国スポ・全障スポの魅力発信・気運
			531 岡谷市実行委員会の組織立ち上げ
			532 ボランティアの募集

◆ 基本理念に向けたイメージ図



【基本目標Ⅰ】 市民ひとりⅠスポーツの実現

生涯にわたって運動やスポーツに取り組めるように、スポーツ団体やスポーツ推進委員などと連携しながら、幅広い年齢層の市民や障がい者が楽しく参加できる各種教室、大会などの多様なスポーツ機会の充実を図り、健康を志向したスポーツ活動を推進します。

◆ 具体的な取り組み

基本施策Ⅰ.市民のライフスタイルに合った「するスポーツ」の充実

ⅠⅠⅠ 各種スポーツ教室、大会の充実

- 市民誰もがスポーツの楽しさを気軽に体験、参加できるよう、幅広い年齢層を対象としたスポーツ教室やスポーツ大会を（公財）岡谷市スポーツ協会や関係団体等と連携し開催します。
- また、市民のニーズを把握し、需要のあるスポーツ機会を提供することで、満足度の高いスポーツ環境の整備を図ります。

ⅠⅠⅡ 家族のスポーツ機会の充実

- 様々なスポーツを家族と一緒に体験でき、身体を動かすことの楽しさを知ってもらうための、スポーツを始めるきっかけづくりの場を提供します。

ⅠⅠⅢ 子育て世代のスポーツ機会の充実

- 体を動かす時間が不足しがちな子育て世代が心身ともに健康を維持できるよう、託児付スポーツ教室等、ニーズにあったスポーツ機会の提供を図ります。

ⅠⅠⅣ 高齢者のスポーツ機会の充実

- 高齢者の体を動かすきっかけや健康維持の観点から、定期的な市民総合体育館の一部無料開放や継続して運動することを推進するためのスポーツイベントの開催等、高齢者のスポーツ機会の創出、生きがいづくりの充実を図ります。

ⅠⅠⅤ 気軽に取り組めるスポーツの普及・啓発

- 年齢を問わず、だれでも気軽に取り組むことができる体操やニュースポーツ等について、スポーツイベント、出張教室を開催するほか、動画配信サイトを活用した活動等を実施することで普及促進を図り、スポーツ参画人口の創出につなげます。
- 諏訪湖周のジョギングロードやサイクリングロード等、特色ある施設を活用し、気軽にできる運動・スポーツの情報発信、普及へとつなげます。
- 市民総合体育館の一部のスペースを個人利用者向けに確保し、市民がスポーツに親しむ機会の充実を図ります。

諏訪湖サイクリングロード・ジョギングロード

諏訪湖周3市町と県が連携、整備を進めてきた「諏訪湖サイクリングロード」が全線開通しました。全長約16Km、諏訪湖全周が整備され安全なサイクリングロードが完成しました。岡谷市の釜口水門側からはハケ岳を目にしたがらのサイクリングやジョギングが楽しめます。



基本施策2. スポーツ活動を「ささえる」体制の充実

121 スポーツ推進委員活動の充実

- 地域スポーツ活動の実施、連絡調整、指導を担うことを役割とする岡谷市スポーツ推進委員の充実を図るため、県などが開催する講習会等への積極的な参加を促し、幅広い知識の習得や資質向上に努めます。
- スポーツ推進委員によるニュースポーツの普及や健康づくりへの取り組み、障がい者スポーツへの支援等について、相互の連携や活動の充実を図ります。

122 地域のスポーツ指導者の養成

- 適切な指導ができる資質の高いスポーツ指導者を養成するため、スポーツ指導者講習会を（公財）岡谷市スポーツ協会と連携し開催します。

123 スポーツボランティア活動の促進

- ボランティアとして参加できる大会やイベント等の情報提供を行い、市民のスポーツボランティアへの関心を高め、参加を促進します。また、2028年開催予定の国民スポーツ大会への市民参加を促進するため、スポーツボランティアの活動ややりがいの周知を図ります。

124 （公財）岡谷市スポーツ協会への活動支援

- より公益性の高い事業展開を図るとともに、安定的な事業運営をめざすため、組織体制の強化に向けた事業等について、本市として必要な支援や助言を行います。

125 総合型地域スポーツクラブの育成支援

- 生涯スポーツの振興を目的に活動する総合型地域スポーツクラブについて、その活動の支援に努めるとともに、ホームページや広報おかや等を通じ、広く市民に周知を図ります。

126 スポーツクラブ等の活動支援

- スポーツクラブ等の活動の充実及び活性化を図るため、快適なスポーツ環境整備や（公財）岡谷市スポーツ協会や関係団体等と連携し情報提供や活動支援等を行い、スポーツクラブ等が活動しやすい環境づくりに努めます。

基本施策3. 障がい者スポーツの普及・推進

131 障がい者のスポーツ機会の充実

- 障がいのある方が、スポーツに自主的かつ積極的に取り組み、スポーツに親しめる環境づくりを推進するため、スポーツ推進委員や（公財）岡谷市スポーツ協会と連携して「ささえる」指導者を育成し、イベント等を通じ気軽にスポーツを楽しむことができる機会を提供するなど、障がい者のスポーツ機会の充実を、関係各所と連携しながら推進します。

132 みんなで楽しめるニュースポーツ等の普及

- 障がいのある方が、気軽に取り組みやすいニュースポーツ等について研究を進めるとともに、障がいの種別や程度に応じたスポーツに取り組めるよう、スポーツ推進委員会を中心として適切な指導に努め、社会福祉施設と連携し、市内問わずスポーツに関われる機会の情報提供を行います。
- スポーツ活動の場が少ない障がい者へのスポーツ推進を図るため、社会福祉施設等と連携し、ニーズを把握しながら、スポーツイベントを実施します。

基本施策4. 地域活性化につながるスポーツの推進

141 地域におけるスポーツ交流会の充実

- 多様なスポーツ施設を活用し、市民が世代を超えて主体的に運動やスポーツに取り組み、相互の絆を深めることができるよう、（公財）岡谷市スポーツ協会や関係団体等と連携し、地域におけるスポーツイベントや市主催の各区対抗スポーツ大会などスポーツ機会の充実に図ります。
- 総合型地域スポーツクラブや関係団体等と連携し、地域において開催する高齢者をはじめ市民の健康増進へ向けた運動教室等の充実に図るとともに、参加を促進します。

142 スポーツによる地域交流の推進

- 多様なスポーツ施設、交通アクセス等の利便性を活かしたスポーツ合宿の誘致等を、岡谷市観光協会や関係団体等と連携し推進します。
- 豊かな自然に恵まれた環境を活かし、関係各所と連携して、観光と野外活動やスポーツを組み合わせながら、地域の活性化を促進します。
- 市と相互連携協定を締結した、プロバレーボールチームのVC長野トライデンツやプロスポーツチームのもたらす経済効果、スポーツ振興、まちの情報発信など、多様なメリット等について幅広く研究を進めます。
- エースドッジボール等をとおした、スポーツによる姉妹都市との交流大会を開催し、スポーツを通じた親善交流のみならず、互いの文化に触れあい情報交換や意見交換を行い、地域振興や地域社会の活性化を図ります。

基本施策5. 「みる」スポーツの普及

151 プロスポーツ等との連携

- 市民のスポーツに対する関心や意欲向上を図るため、VC長野トライデンツやプロスポーツチームやトップアスリートと連携して、試合観戦や講習会等の開催を通して、市民の「みる」スポーツの定着を図ります。

152 スポーツ観戦のきっかけづくり

- 市内で開催されるプロスポーツや国民スポーツ大会等を通じて、スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことでみんながスポーツの価値を認識できるよう、きっかけづくりを行います。

●達成指標

指 標 名		現 状 (令和6年度)	目 標 (令和10年度)	備 考
実施率 スポーツ	週1回以上実施	47.1%	65.0%	一定期間内にスポーツをする成人の割合
	週3回以上実施	22.7%	34.3%	
	スポーツをしない	9.2%	0に近づける	
スポーツ教室参加者数		3,836人 (令和5年度実績)	5,300人	市教育委員会主催 教室参加者数
トップアスリート等による 試合や講習会等の開催		5回	7回	

【基本目標 2】 競技力の向上

全国大会などの誘致や競技力向上のための教室、大会を開催します。また、全国大会で活躍できる選手の育成を支援するとともに、指導者講習会などの開催を通じて、スポーツ指導者の養成を推進します。

◆ 具体的な取り組み

基本施策 1. 競技力向上に向けた取り組み

211 競技力向上スポーツ教室、大会の充実

■競技人口の拡大や競技力向上を目的とした各種スポーツ教室、大会を（公財）岡谷市スポーツ協会や関係団体等と連携を図り開催します。

212 スポーツ指導者の育成

- スポーツ指導者の資質向上を図ることを目的に、効果的なトレーニング方法や選手をスポーツ傷害から守るための、基礎的な知識を身につけるスポーツ指導者講習会を（公財）岡谷市スポーツ協会と連携して開催するとともに、関係機関等が開催する講習会等への参加を促進します。
- 各競技団体の指導者等が高齢化している現状を踏まえ、これからも団体活動を継続していけるよう、次世代の指導者を養成し、安定的な指導体制づくりを推進します。

基本施策 2. 全国や世界で活躍する選手の育成・支援

221 アスリートの育成

- （公財）岡谷市スポーツ協会、岡谷市スポーツ少年団及びスポーツクラブ等と連携し、ジュニア世代を対象とした教室を開催し、競技人口の拡大や競技力の向上を図るとともに、国スポや世界の舞台をはじめとした大会で活躍できる選手の育成強化や組織体制の充実を図ります。
- 令和10（2028）年開催される『信州やまなみ国スポ・全障スポ』において、多くの本市出身の選手が出場し、市民へ夢と感動を与えてくれる活躍ができるよう、（公財）岡谷市スポーツ協会や関係団体等と連携し、選手の育成強化を推進します。
- 障がいのある方が、全国障害者スポーツ大会に、自主的かつ積極的に参加し、競技者としてできるよう関係団体等と連携を図り競技力の向上を図ります。
- 国民スポーツ大会出場者に対して壮行会を開催し激励及び支援を行うとともに、国民スポーツ大会に対する市民の関心や競技者のモチベーションを高め、市民が一丸となり応援できる体制を構築します。
- 市民の競技意欲や指導意欲のさらなる向上のために、優秀な成績を収めた選手、団体及び指導者等を対象とした顕彰制度の推進を図ります。
- 成長期に合わせた運動プログラムを取り入れ、遊びを通じた効果的なトレーニングを実施し、運動神経、運動能力の向上を図り将来的な競技力の向上につなげます。
- 優れた競技能力を持つジュニア選手を発掘し、競技力を効果的に向上させるため、（公財）岡谷市スポーツ協会、岡谷市スポーツ少年団、スポーツクラブ等や学校と連携を図り、継続した指導体制の構築を図ります。

基本施策3. トップアスリートとの連携促進

231 トップアスリートとの交流による競技意欲の増進

- 市内スポーツ選手の競技力向上及び市民のスポーツに対する意欲関心を高めるため、多様な施設環境を活用し、プロスポーツの試合観戦、応援の機会創出を図ります。
- VC長野トライデンツやプロスポーツチームと連携し、試合観戦や応援、スポーツイベント等を通して、トップアスリートへの夢や憧れを抱き競技に挑む意欲の向上を促進します。
- プロスポーツチームと連携し、スポーツイベントを開催する等、トップアスリートと身近に接する機会を提供することで、市民へのスポーツに対するにぎわいの創出につなげ、チームへの愛着を深めます。

●達成指標

指 標 名	現 状 (令和6年度)	目 標 (令和10年度)	備 考
全国大会に出場する 個人・団体の数	24人・団体	40人・団体	国体、高校総体は除く (団体は1とする)
国民スポーツ大会 出場選手数	32人	38人	【対象者】 (岡谷市関係者)

写 真



#96 MASCOT
グロッテ GUROTTE

【基本目標3】 子どものスポーツ機会の充実

学校体育の学習の充実をはじめ、子どもたちの成長期に合わせた体力向上プログラムにより、体力、運動能力の向上をめざすとともに、スポーツを始めるきっかけづくりとして、多様なスポーツ教室などを開催し、運動やスポーツへの苦手意識を軽減させ、喜びや楽しいと思える機会を提供します。さらに、中学校運動部活動の地域移行に向けた取組を推進します。

◆ 具体的な取り組み

基本施策1. 成長期に合わせた運動機能、体力向上策の推進

3 1 1 年齢に応じた運動プログラムの充実

- 成長期におけるスポーツに親しむための資質や能力を育成するための新体力テストの結果分析を踏まえ、関係団体と連携し授業改善プログラムの充実を図ります。
- 保育士を対象にした運動プログラムの講習会を開催し、保育士の運動保育の資質向上を図るとともに、運動教室を実施し、幼児の運動機能を高め、集団での運動遊びを通して社会性や協調性の向上を図ります。
- 学校体育以外でも体を動かす機会を設けるとともに、多様な運動ニーズに対応し、日常的に運動ができるよう、スポーツ少年団や競技団体等と連携し、運動機会の創出を図ります。
- 本市特有の自然環境や施設を活かし、市内の幼稚園、保育園において氷上での体験活動及びスケート体験、カーリング、アイスホッケー教室等、多様な氷上スポーツに触れることで、子どもの身体機能、体力の向上を図ります。

基本施策2. 多様なスポーツ環境の充実

3 2 1 スポーツきっかけづくり事業の充実

- スポーツの楽しさを体感し、継続してスポーツに取り組んでもらうため、各種スポーツ教室と体験会を（公財）岡谷市スポーツ協会や関係団体等と連携し開催します。
- スポーツをする機会が少ない子どもや、苦手意識を持つ子どもに対して、体を動かす楽しさを体感してもらい、スポーツを親しむ習慣を身につけるきっかけづくりにつなげるため、多種多様な教室を開催します。
- 信州やまなみ国スポ・全障スポへの興味、関心を高め、スポーツの楽しさや喜びを伝えることにより、スポーツへの参加促進を図ります。
- 障がいのある子どもとない子どもが一緒にスポーツができる環境づくりを推進します。

3 2 2 社会体育活動の充実

- 子どものスポーツ機会の充実を図るため、（公財）岡谷市スポーツ協会、岡谷市スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ及びスポーツクラブ等と連携し、情報提供や活動支援等を行い、成長期に合わせた適正な社会体育活動が行われるよう努めます。
- 放課後のスポーツや外遊びの機会が減少する中で、放課後子どもの居場所づくり事業や地域の育成会の活動を通して、スポーツの機会を提供し、子どもの健全育成の推進とスポーツ離れの解消に努めます。

- 心身の成長過程にある中学生期において、生徒が生涯にわたってスポーツ活動に親しむ機会を確保し、スチューデントファーストの精神に基づく適切な活動となるよう、新たな地域クラブ活動に向けた環境づくりに努めます。

3 2 3 スポーツ指導者の養成

- スポーツを通じた青少年の健全育成、地域社会への貢献を目的に活動するとともに、指導者が各種講習会等を通じ、幅広い知識、技術を身につけることができる岡谷市スポーツ少年団へのスポーツクラブ等の加入を促進し、適切な指導ができるスポーツ指導者の養成を図るとともに、各指導者が持つ様々な情報の共有と連携を深める取り組みに努めます。
- 子どもと一緒にスポーツの楽しさを体験し、親子のコミュニケーションを図る場合は、その後の技術の向上や生涯にわたるスポーツへの親しみ方にも大きな影響を与えるため、理想的な保護者の関わり方について、積極的な情報提供を図ります。

3 2 4 スポーツ施設の無料開放

- 市内小中学生のスポーツ施設の個人利用については無料としていたため、積極的な広報活動に努め、利用を促進し、スポーツに親しむ機会の充実を図ります。

基本施策3. 家族でのスポーツ機会の充実

3 3 1 親子参加型スポーツイベントの開催

- 親子で気軽に参加できるスポーツ機会を増やし、楽しみながらスポーツを始めるきっかけづくりとなるよう、『おかやファミリースポーツプログラム』をはじめとした、スポーツ機会の提供を図ります。
- 岡谷のスケート文化に親しみ、スケートのおもしろさを体験してもらうため、親子で氷上運動会や各種スケート教室等を開催します。
- 市内で開催されるプロスポーツチームの試合観戦に親子対象で招待するなど、「みる」スポーツの充実を図るとともに、親子でスポーツに親しむ機会の創出を図ります。



基本施策 4. 中学校運動部活動地域移行への推進

341 学校、地域、競技団体等と連携した組織体制の構築の確保

- 中学校の運動部活動は、少子化に伴い、部活動の存続が難しくなっていることや、教員の働き方改革が求められているなかで、地域への移行が国から示されていることから、学校、地域の実情にあったスポーツ環境の整備と充実に努めます。
- 中学校の運動部活動の地域クラブ活動への移行に向け、休日の活動を皮切りに着手し、学校、地域、競技団体等との連携・協働により、子どもたちにとって望ましい持続可能なスポーツ環境づくりを実施します。また、競技団体等の指導者の確保や質の向上を図ります。

●達成指標

指 標 名	現 状 (令和6年度)	目 標 (令和10年度)	備 考
体力合計点	50.03点 (R5実績値)	52.3点台	
岡谷市スポーツ少年団 登録単位団数	9団体	12団体	H28～R1：11団体 R2：12団体 R3～R5：10団体
岡谷市スポーツ少年団 団員数	186人	250人	

※体力合計点の達成指標数値は、令和5年度体力テスト調査において全国都道府県平均値に相当する点数を参考に設定。
体力合計点は、小学5年生男女、中学2年生男女別合計点の平均による。



【基本目標4】スポーツ環境の整備・充実

利用者が安全で快適にスポーツ活動を行えるように、スポーツ施設の長寿命化を計画的に進め、安全で安心な環境を整備します。

◆ 具体的な取り組み

基本施策1. スポーツ施設の整備・充実

4-1-1 安全・快適に利用できる施設整備

- 公共施設個別施設計画に基づき、適切な維持管理や計画的な改修等に取り組みます。また、「信州やまなみ国スポ・全障スポ」に向けて、競技会場となる施設整備を推進します。
- やまびこ国際スケートセンターの施設のあり方について、さらに検討を進め、今後の方向性を決定します。
- （公財）岡谷市スポーツ協会と調整を図るなかで、すべての市民が安全で快適にスポーツに親しめるよう、利用者視点に立った利用しやすい環境整備に努めます。
- 指定管理者と連携しながら、施設や設備など日々の細やかな点検により、利用者の安全確保に努めるとともに、必要な修繕を計画的に実施します。
- 高齢者や障がい者なども含めたすべての市民が、安心してスポーツを楽しめるよう、ユニバーサルデザインに配慮したスポーツ環境整備を推進します。
- 学校体育施設については、学校教育に支障のない範囲で開放し、身近にスポーツができる環境づくりを提供するとともに、施設の安全確保と利便性向上に必要な修繕等を計画的に進めます。

基本施策2. スポーツ施設の効率的な管理と有効活用

4-2-1 スポーツ施設の安定的な管理運営

- 指定管理者の運営ノウハウを活かして、市民サービスの向上と安定的かつ効率的な管理運営に努めます。また、すべての市民が安全、快適に施設を利用できるよう、利用者の意見を反映した管理運営を図ります。
- 市民水泳プールについては、定期的な研修等により監視員の資質向上及び意識啓発を図り、万が一の際にも適切な救命措置がとれるよう、利用者の安全確保を図ります。
- 快適に施設を利用できるよう、（公財）岡谷市スポーツ協会と連携し、利用団体によるボランティア清掃等を推進し、利用者のマナー向上を図ります。
- 施設使用料については、受益者負担の原則に基づき、社会情勢や近隣市町村の動向も踏まえ、適正な施設使用料を設定するとともに、定期的に見直しを行います。

4 2 2 スポーツ施設の有効活用の推進

- 予約システムの導入により、利用しやすい環境を整えるため、施設の空き状況の確認や施設予約が可能となるよう研究を進めます。
- スマートフォンの急速な普及に伴い、利用者の利便性を高めるために、キャッシュレス決済の導入に向けて検討を進めます。
- スポーツ施設の稼働率の低い時間帯を分析し、施設の稼働率促進のため、指定管理者と連携しながら、利用者を呼び込むためのPRやスポーツ教室等の事業展開を図ります。
- プロスポーツチームや民間事業者間等とのネーミングライツによる、新たな財源の創出を図ります。

基本施策3. スポーツに関する情報提供の充実

4 3 1 スポーツ機会の創出及び周知

- スポーツ施設で開催される、スポーツ大会やスポーツ教室及び各種イベント、健康・体力づくりなどの情報を、広報おかややホームページ等を活用して、市民等へ広く情報発信に努めます。
- （公財）岡谷市スポーツ協会、指定管理者等と連携し、効果的な情報提供に努め、スポーツへの関心と、きっかけづくりの創出につなげていきます。

●達成目標

指標名	現 状 (令和4年度)	目 標 (令和10年度)	備 考
スポーツ施設利用者数	281,456 人	400,000 人	市民総合体育館・市民水泳プール・市営岡谷球場・市営庭球場・湖畔広場・川岸スポーツ広場・やまびこ国際スケートセンター・学校体育施設

《 市内スポーツ施設 》



市民総合体育館



市民水泳プール



市営岡谷球場



岡谷市営庭球場

(R7.1 人工芝張替改修完了のため写真差替予定)



岡谷市民湖畔広場



川岸スポーツ広場



やまびこ国際スケートセンター



やまびこアイスアリーナ

【基本目標 5】

第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会の推進

令和 10(2028)年に開催される第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会に向け、機運醸成を図りながら、万全な開催準備を推進します。また、これを契機に、スポーツに対する市民の関心を高めるとともに、大会終了後も大会開催の成果を本市の財産として、未来へ継承します。

～ 開催までのスケジュール予定 ～ (2025.3 時点)

令和 9 年 9 月 トライアスロンリハーサル大会

令和 9 年 10 月 卓球競技リハーサル大会

令和 10 年 1 月 アイスホッケー競技冬季大会

令和 10 年 8 月 綱引競技大会(公開競技)

令和 10 年 9 月 トライアスロン競技本大会

令和 10 年 10 月 卓球競技本大会・全障スポ大会



◆ 具体的な取り組み

基本施策 1. 国スポ・全障スポ大会の推進

5 1 1 信州やまなみ国スポ・全障スポの推進

- 2028 年(令和 10 年)に、長野県において国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会(信州やまなみ国スポ・全障スポ)が、1978 年(昭和 50 年)の「やまびこ国体」以来 50 年ぶりに開催されます。本市では、本大会で卓球競技、冬季大会でアイスホッケー競技、障害者スポーツ大会で卓球競技、公開競技で綱引競技を実施します。さらに、岡谷市、諏訪市、下諏訪町の 3 市町共同でトライアスロン競技を実施します。
- 県や競技団体などと連携して、計画的な準備や運営体制の構築を図り、本市における開催競技の成功に向けた取り組みを推進します。
- 競技会場となるスポーツ施設について、計画的な施設整備を行うとともに競技開催に必要な設備等の充実を図ります。
- 国民スポーツ大会には、県外から多くの方が来訪されることから、積極的なまちの魅力や情報を発信することで、地域の活性化を図ります。

基本施策 2. 大会に向けた機運の醸成

5 2 1 信州やまなみ国スポ・全障スポの魅力発信・機運醸成

- 信州やまなみ国スポ・全障スポが本市で開催されることを、市民に対して積極的に広報、啓発活動を展開するとともに、各種競技団体等と連携し、開催種目の魅力を発信し、スポーツに対する意識の向上につなげます。

基本施策3. 大会に向けた体制づくり

531 岡谷市実行委員会組織の立ち上げ

■実行委員会組織（各種関係機関・団体）を立ち上げ、各種の開催準備を進めます。

532 ボランティアの募集

■50年ぶりに開催される大会の運営を支えるほか、全国から訪れる選手等のおもてなしなど、市民と一体となって活動していくため、ボランティアを募集します。

●達成目標

指標名	目 標 (令和10年度)	備 考
国スポ・全障スポ満足度	80%	選手、観客、その他関係者へのアンケートの実施により評価する。

《 岡谷市で開催される競技 》



正式競技：卓 球



冬季競技：アイスホッケー



正式競技：トライアスロン



公開競技：綱 引

第4章 計画の推進体制と評価

1. 計画の推進体制

関係部局との横断的な連携により、実効性のある取り組みを展開します。

また、地域の関係団体がそれぞれの役割と責任が果たせるよう互いに連携協力を図ります。

2. 計画の評価・検証

第5次岡谷市総合計画後期基本計画における成果指標（KPI）により数値目標の達成度を把握します。

また、関係諸団体等からの提言を踏まえ、取り組みの成果や課題を評価・検証し、次年度の施策展開に反映していきます。

3. 計画の見直し

計画の推進にあたっては、岡谷市の財政状況やスポーツ振興をめぐる情勢の変化を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行います。



資料編

はつらつ岡谷スポーツプラン策定経過.....	37
岡谷市スポーツ推進計画策定委員会名簿.....	38
用語解説.....	39
岡谷市・長野県・全国の体力・運動能力調査データ.....	40
スポーツ振興に関するアンケート調査集計結果報告書.....	41

はつらつ岡谷スポーツプラン策定経過

年 月 日	会 議 等	内 容
R 6. 5. 2 1	岡谷市スポーツ推進計画策定委員会の委嘱書等交付式及び第1回岡谷市スポーツ推進計画策定委員会	○委嘱書等の交付式 ○正副委員長の選出 ○岡谷市スポーツ推進計画の概要説明 ○次期プラン策定の進め方 ○市民アンケート内容の確認
R 6. 7. 1 6	市民アンケート	○スポーツ振興に関するアンケート調査の実施
R 6. 9. 2 7	第2回岡谷市スポーツ推進計画策定委員会	○市民アンケート結果報告 ○プランについて協議
R 6. 1 0. 3 1	第3回岡谷市スポーツ推進計画策定委員会	○プラン（素案）について協議
R 6. 1 1. 8	岡谷市定例教育委員会	○プラン（素案）について協議
R 6. 1 1	庁内各部署への照会	○各課等の施策等との整合
R 6. 1 2. 1 3	第4回岡谷市スポーツ推進計画策定委員会	○プラン（素案）について協議
R 6. 1 2. 2 5 R 7. 1. 1 4	パブリックコメント	○プラン（案）について市民からの意見聴取
R 7. 1	部長会議	○プラン（案）について協議
R 7. 2	第5回岡谷市スポーツ推進計画策定委員会	○プラン（案）について協議
R 7. 2	岡谷市定例教育委員会	○プランの決定
R 7. 3	行政管理委員会	○プランの報告
R 7. 3.	岡谷市議会総務委員会	○プランの報告

岡谷市スポーツ推進計画策定委員会名簿

※順不同、敬称略

	氏 名	役 職
委 員 長	武井 富美男	公益財団法人 岡谷市スポーツ協会 会長
副 委 員 長	宇治 浩	岡谷市スポーツ少年団 本部長
委 員	田中 仁之	岡谷市スポーツ推進委員 委員長
委 員	高林 順三	総合型地域スポーツクラブ 理事長
委 員	守屋 守	市内小中学校校長会 代表者
委 員	小池 修次	社会教育委員の会議 会長
委 員	吉川 恭子	ハンデサポートおかや
委 員	石橋 百合子	保健師（健康推進課）
委 員	濱 敦志	教育総務課（学校教育）
委 員	清水 浩史	生涯学習課（生涯学習推進）
委 員	高山 理恵	社会福祉課（障がい福祉）
委 員	赤羽 恵実	介護福祉課（介護予防）
委 員	小口 和久	子ども課（保育）

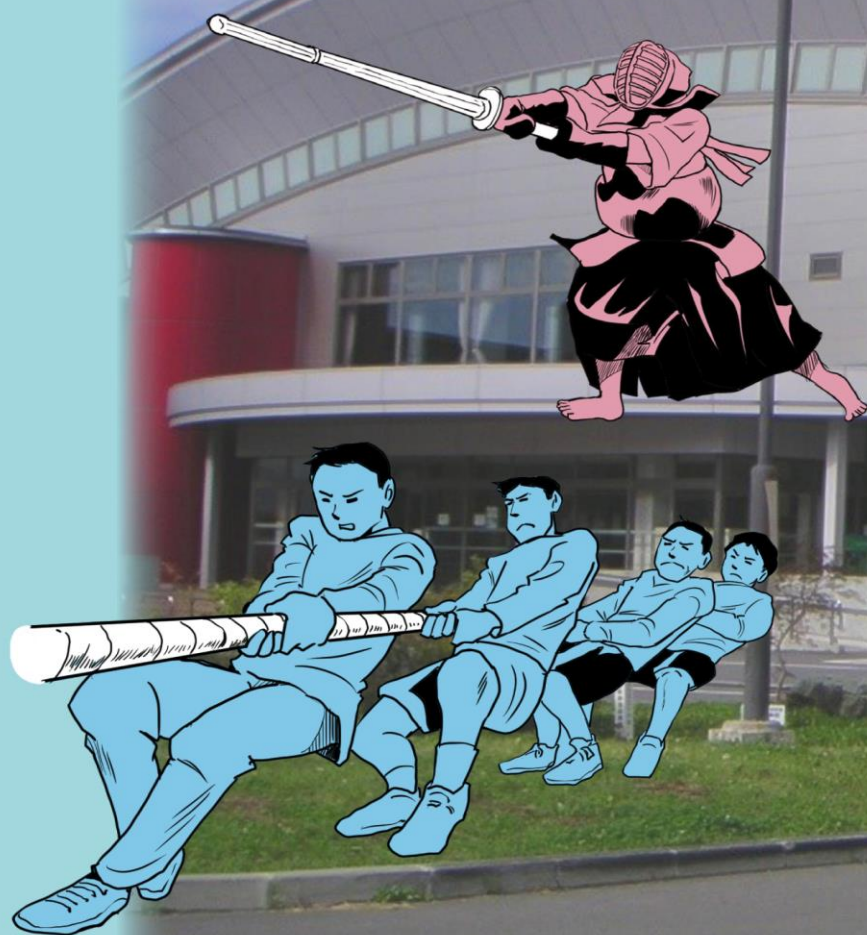
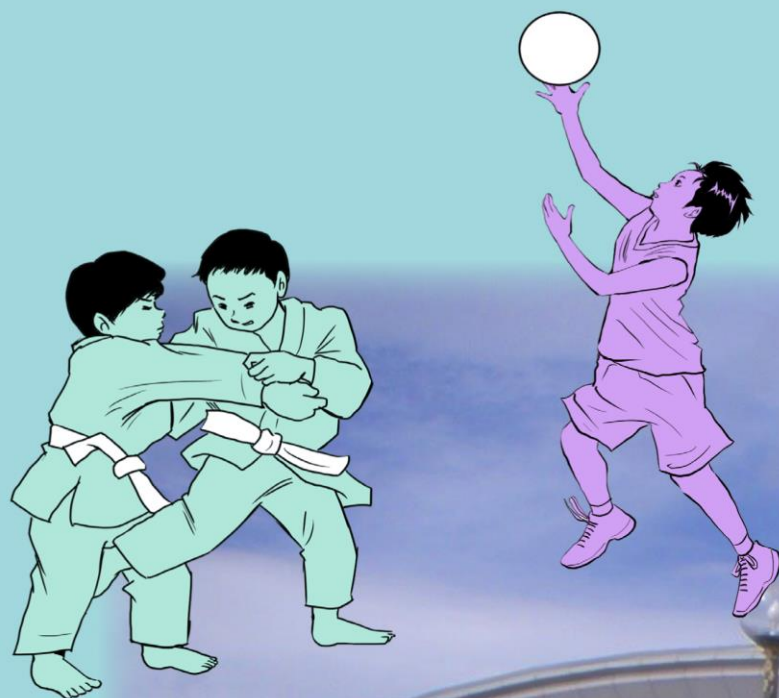
事務局・・・スポーツ振興課

用語解説

ア行	
岡谷市スポーツ少年団	子どもたちが自由時間に地域社会でスポーツを中心としたグループ活動を行う団体であり、（公財）日本スポーツ協会が1962年に創立50周年記念事業として、「一人でも多くの青少年にスポーツの喜びを!」、「スポーツを通して青少年のからだところを育てる組織を地域社会の中に!」と願い創設された。スポーツ少年団の指導者は、各種講習会等への参加により、幅広い知識や技能を身に付けることができる。
おかやファミリースポーツプログラム	スポーツを始めるきっかけとして家族を対象にした、遊びを通した体験型スポーツイベント。
カ行	
（公財）岡谷市スポーツ協会	岡谷市のスポーツ総括団体であるとともに、市民の体力向上及びスポーツの振興に寄与することを目的とした組織。
サ行	
指定管理者制度	多様な住民ニーズに、より効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上に努め、経費の節減等を図ることを目的として、平成15年の地方自治法改正により創設された。地方公共団体が法人その他の団体（民間事業者等を広く含む）を指定管理者として指定し、公の施設の管理を行わせる制度。
スポーツ推進委員	市町村におけるスポーツの推進のため、事業の実施に係る連絡調整並びにスポーツの実技指導、その他スポーツに関する指導及び助言をする者。社会的信望があり、スポーツに関する深い関心と理解を有し、職務を行うため必要な熱意と能力を有する者を市町村教育委員会が委嘱する。スポーツ基本法制定時に、従前の「体育指導員」から改称された。
スポーツクラブ	スポーツ愛好者が結成する集団であり、地域社会や学校、企業といった共同体の結びつきによって集まり、スポーツ活動を行っている団体のこと。
スチューデントファースト	学習者本位の意。運動部活動が適切かつ効果的な活動となることをめざし、示された長野県中学生期のスポーツ活動指針の策定の趣旨に <u>うた</u> われている。
スポーツ振興に関するアンケート調査	第3次スポーツ推進計画の策定にあたり、市民からの意見・要望等を聴取し、本市のスポーツ行政における現状や課題を把握するため本市が独自に実施したアンケート調査。調査対象：18歳以上の男女市民1,000人（無作為抽出）
総合型地域スポーツクラブ	「誰でも」「いつでも」「世代をこえて」「好きなレベルで」「いろいろなスポーツ」を楽しむことができ、地域住民が主体的に運営する総合的なスポーツクラブのこと。
タ行	
体力テスト・体力合計点	文部科学省が全国一律に、毎年、小中学生を対象に行う「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、実施する実技種目の握力、50m走、ボール投げ、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン（中学生は、持久走か20mシャトルランのどちらかを選択）、立ち幅とびの8種目を点数化して合計したもの。
ナ行	
ニュースポーツ	それぞれの体力や年齢、障がいの有無にかかわらず、誰でも気軽に取り組むことのできるスポーツの総称。
ハ行	
ハンデサポートおかや	市内の障がい者の支援活動をしている団体及び障がい福祉施設等で構成されており、障がい者の社会参加の促進や市民との交流等を目的とした団体。

岡谷市・長野県・全国の体力・運動能力調査データ

		男子										女子									
		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3		
身長 (cm)	岡谷市	118.06	122.99	128.36	132.65	139.06	145.75	153.55	159.07	165.03	115.40	121.81	130.28	133.74	141.02	146.92	150.97	154.29	156.09		
	長野県	116.59	122.58	128.37	133.57	139.09	146.13	153.63	160.34	165.59	115.78	121.45	127.87	133.80	140.49	147.38	152.00	154.94	156.24		
	全国	117.40	122.60	128.78	133.56	139.76	146.47	154.68	161.39	166.02	116.03	121.86	128.07	134.42	141.42	147.62	152.35	155.24	156.54		
体重 (kg)	岡谷市	22.16	24.22	27.57	30.67	33.12	38.44	45.52	48.73	55.83	20.74	23.54	28.29	30.19	34.45	38.10	44.97	47.67	49.19		
	長野県	21.47	24.29	27.65	31.00	34.81	39.48	45.09	49.76	55.05	20.84	23.36	26.91	30.21	34.67	40.02	43.60	46.59	49.80		
	全国	21.58	23.86	27.22	30.54	34.67	39.00	44.99	49.49	53.75	21.02	23.60	26.93	30.17	34.76	39.78	43.53	46.77	48.88		
握力 (kg)	岡谷市	9.79	12.48	13.15	14.33	16.58	20.33	25.36	31.52	36.11	8.64	11.39	11.62	14.38	16.62	19.52	22.25	25.11	26.31		
	長野県	9.38	11.36	12.95	14.34	17.11	20.51	24.31	29.70	34.69	8.65	10.44	12.14	13.61	16.41	19.60	21.70	23.79	25.33		
	全国	9.13	10.76	12.46	14.31	16.73	19.48	24.69	30.21	34.53	8.52	10.09	11.76	13.88	16.45	18.66	21.38	23.99	25.24		
上体起こし (回)	岡谷市	11.32	15.67	16.20	16.53	20.06	22.44	21.86	26.71	29.59	9.81	15.60	14.62	17.11	18.16	19.50	17.16	19.86	20.91		
	長野県	11.19	14.22	15.85	16.66	19.37	20.69	22.76	25.79	27.83	10.85	13.50	14.85	15.86	17.57	18.99	19.30	21.32	22.56		
	全国	11.82	14.45	16.05	17.96	20.01	21.63	23.68	26.59	28.63	11.77	13.63	15.70	17.27	18.50	19.48	19.93	22.54	24.00		
長座体前屈 (cm)	岡谷市	27.74	29.19	28.50	34.60	39.80	38.88	49.83	48.39	48.09	29.23	32.33	33.53	35.65	42.30	43.45	48.36	50.00	48.47		
	長野県	24.60	26.79	29.22	30.38	34.36	36.49	41.51	45.63	47.28	27.34	29.68	32.34	33.88	38.71	40.77	45.40	47.58	49.61		
	全国	26.56	28.15	29.91	31.97	34.35	36.61	40.67	45.14	49.23	28.49	30.64	33.08	35.68	37.81	41.14	44.40	47.30	49.39		
反復横とび (点)	岡谷市	27.94	34.66	36.30	38.45	41.91	46.10	47.42	50.39	52.11	27.29	32.43	34.79	38.31	38.76	43.22	42.77	44.28	46.16		
	長野県	26.35	30.88	33.80	36.40	41.18	45.27	46.36	49.48	52.53	26.12	29.86	32.34	34.84	38.53	41.99	42.80	44.11	45.05		
	全国	27.36	31.10	34.64	38.30	42.73	45.51	50.14	52.95	56.01	26.88	29.88	33.34	36.89	39.93	42.15	45.20	47.86	48.59		
20mシャトルラン (回)	岡谷市	16.39	27.14	38.93	43.12	48.29	58.45	59.74	81.13	73.47	17.31	20.74	28.82	34.53	35.15	44.30	35.79	42.22	43.03		
	長野県	19.44	28.48	35.43	39.64	49.23	56.88	62.97	76.52	83.74	16.57	22.11	26.79	31.14	38.24	41.73	44.38	49.62	49.97		
	全国	18.11	27.70	35.17	42.79	51.19	57.46	67.24	83.80	90.80	15.60	21.59	27.77	33.98	40.44	45.08	49.37	56.25	56.21		
50m走 (秒)	岡谷市	11.50	10.65	10.47	10.07	9.86	8.93	8.45	7.80	7.63	11.97	11.37	10.93	10.06	10.08	9.22	9.45	9.01	8.90		
	長野県	11.60	10.88	10.20	10.07	9.51	9.10	8.50	7.90	7.51	11.89	11.15	10.58	10.35	9.81	9.42	9.11	8.87	8.73		
	全国	11.47	10.59	10.13	9.70	9.30	8.94	8.37	7.83	7.49	11.77	10.95	10.42	10.00	9.57	9.26	9.02	8.76	8.68		
立ち幅とび (cm)	岡谷市	122.65	136.82	150.02	143.47	157.78	175.76	178.97	200.87	208.86	111.43	124.44	136.65	142.53	155.75	163.54	150.43	152.06	167.47		
	長野県	114.94	124.83	135.74	142.41	152.05	164.60	181.75	198.24	214.09	106.99	117.80	128.24	134.26	143.59	152.23	161.92	166.47	172.40		
	全国	116.98	127.41	136.59	145.25	156.04	166.14	186.11	203.79	217.30	108.42	119.62	128.26	137.98	148.68	154.71	167.06	172.96	176.01		
ボール投げ (m)	岡谷市	8.75	13.45	15.70	16.06	21.80	27.59	18.06	22.10	23.94	5.81	8.11	9.94	12.84	13.74	16.31	10.43	11.68	13.19		
	長野県	8.35	11.80	14.99	17.72	21.39	25.07	17.92	21.04	23.96	5.81	7.82	9.83	11.75	14.10	15.91	11.39	12.65	13.74		
	全国	8.27	11.38	14.98	18.17	21.88	25.39	17.98	21.03	23.80	5.63	7.37	9.33	11.53	13.42	15.22	11.58	13.32	14.05		
体力合計点	岡谷市	31.82	40.68	44.48	48.37	54.64	62.02	34.41	43.86	48.13	31.86	40.52	44.79	51.17	55.74	62.37	39.12	45.89	49.50		
	長野県	30.16	37.66	43.39	46.62	53.67	59.72	33.47	41.94	48.57	30.48	38.14	43.70	47.81	54.47	59.64	42.78	47.68	50.83		
	全国	30.73	37.99	43.41	48.98	55.36	60.26	35.47	44.11	50.55	30.90	38.04	44.20	50.06	55.65	60.23	44.62	51.04	53.39		



2025 年 3 月
岡谷市教育委員会
スポーツ振興課